

令和4年度第4回岐阜市市政モニター  
「ぎふCITYウォッチャーズ」  
調査結果

テーマ

- ・男女共同参画に関する意識、実態調査について
- ・市営墓地の在り方について
- ・ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」に関する調査

## 目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

### お問い合わせ先

- (1) 男女共同参画に関する意識、実態調査について（問 1～問 8）  
市民協働推進部 男女共生・生涯学習推進課  
TEL：058-214-4792／MAIL：danjo-gakushu@city.gifu.gifu.jp
- (2) 市営墓地の在り方について（問 1～問 6）  
市民生活部 市民生活政策課  
TEL：058-214-2176／MAIL：seikatsu-sei@city.gifu.gifu.jp
- (3) ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」に関する調査（問 1～問 11）  
上下水道事業部 上下水道事業政策課  
TEL：058-259-7878／MAIL：sui-sei@city.gifu.gifu.jp

## 1 調査目的

- (1) 男女共同参画に関する意識、実態調査について
  - ① あらゆる分野、場面における男女共同参画に関する意識及び実態について調査を実施。
  - ② ①の結果を今後の本市における男女共同参画を推進する取り組みの参考とする。
- (2) 市営墓地の在り方について
  - ① お墓に対する考え方や実態に関する調査を実施。
  - ② ①の結果を参考に、今後の市営墓地の在り方を検討し、持続可能な墓地の運営を図る。
- (3) ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」に関する調査
  - ① 紙面の読みやすさや情報量、上下水道事業に関して興味がある事項などについて調査を実施。
  - ② ①の結果を参考に、「水のこえ」の紙面及び記事の内容について改善を行う。

## 2 調査期間

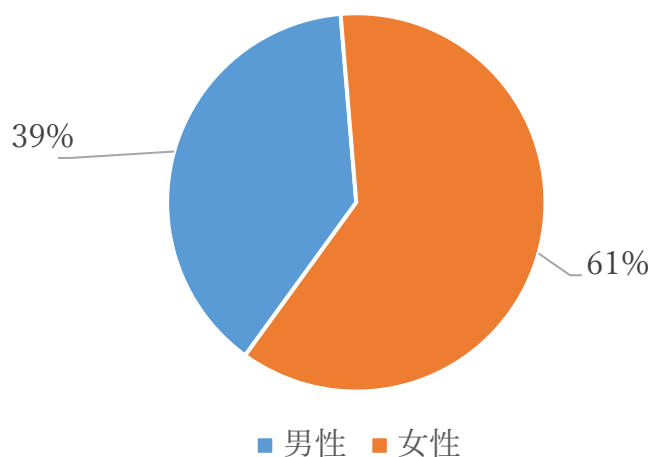
令和 5 年 2 月 1 日(水)～2 月 14 日(火)

## 3 調査項目

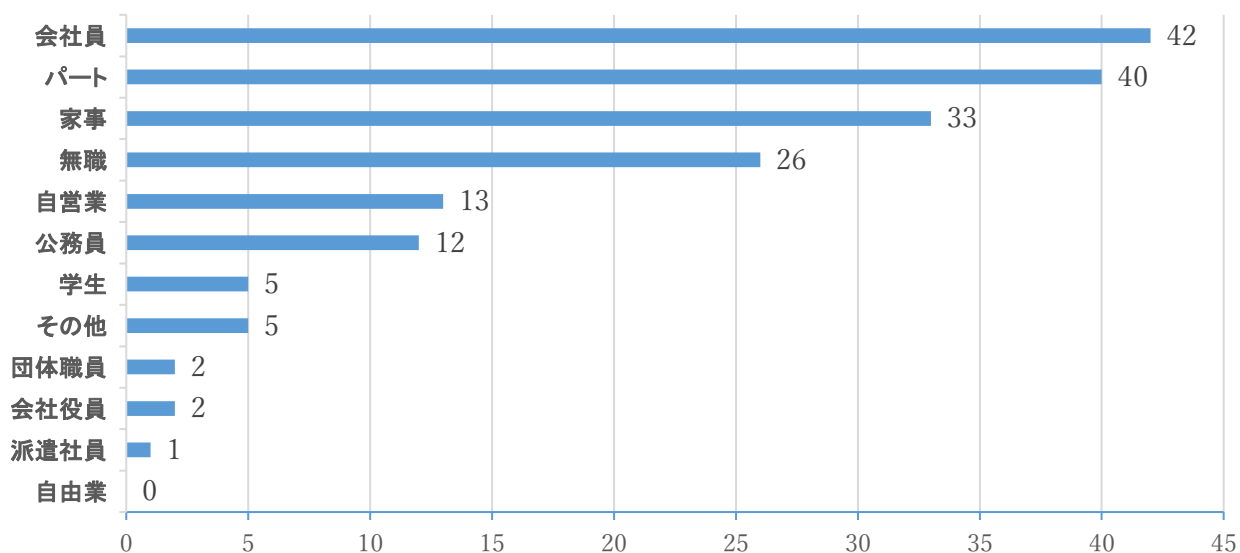
- (1) 男女共同参画に関する意識、実態調査について（問 1～問 8）
- (2) 市営墓地の在り方について（問 1～問 6）
- (3) ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」に関する調査（問 1～問 11）

#### 4 回答者属性

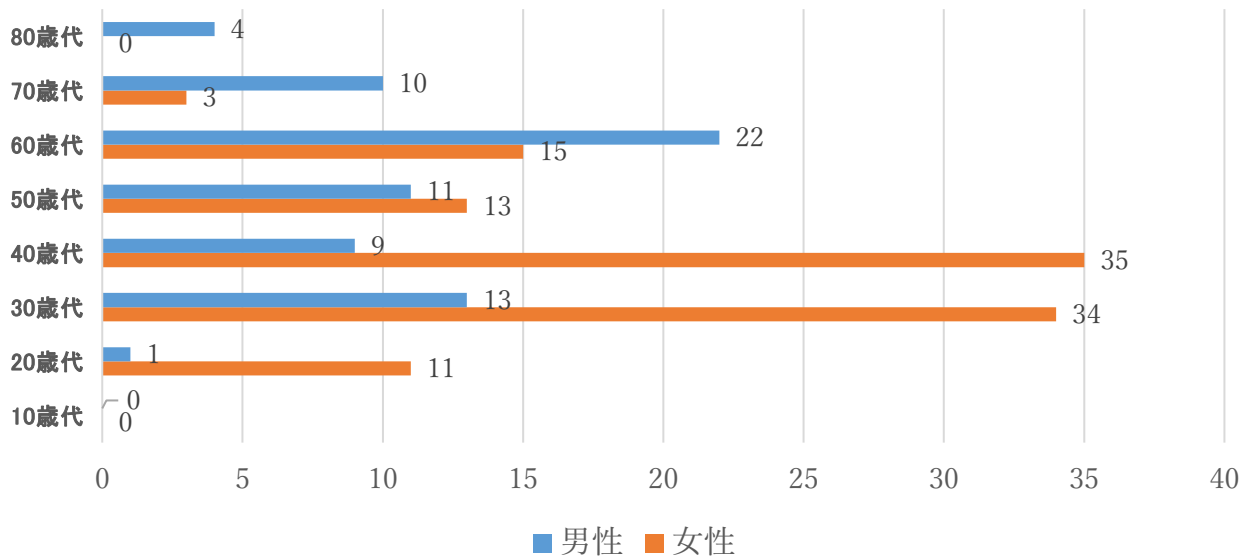
令和4年度市政モニター第4回回答者 性別別割合 n=181



令和4年度市政モニター第4回回答者 職業別割合 n=181



令和4年度市政モニター第4回回答者 年代別割合 n=181



## 5 結果の概要

### (1) 男女共同参画に関する意識、実態調査について

多くのご回答をいただき、ありがとうございます。

今回のアンケートで、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識については「同感できない」、「どちらかといえば、同感できない」と回答した方が、全体の約7割となりました。しかし、男女の地位については、“学校教育の場”以外の項目については「どちらかといえば男性が優遇されている」の回答割合が最も高くなっており、その中でも、“政治の場”“しきたりや習慣”が特に高い割合となっています。

また、就業については、非正規職員・従業員（パート・アルバイト含む）で就業している方で「家事・育児・介護等と両立しやすいから」と答えた方が約5割、また、就業しておらず、「働けない」理由を「出産・育児のため」と答えた方は約5割います。

女性が職業を持つことについて、「子どもができて、ずっと職業を続けるのがよい」と考える方は約5割いるものの、女性が職業を持ち続けていくうえで、問題と思われることについては、約9割の方が「家事や育児との両立が難しい」を選択しています。

この結果から、性別役割分担意識については同感できないと考えているものの、社会全体ではそれが強く残っていることがうかがえます。また、女性が社会に出て活躍するには家事・育児との両立ができるように職場や家庭において、女性が働きやすい環境や制度の整備が必要であると考えます。男女共同参画社会の実現のため、こういった問題の解消に向けてより一層取り組むことが必要であると考えています。

### (2) 市営墓地の在り方について

多くのご回答をいただき、誠にありがとうございます。

今回のアンケートで、回答者の方の半数以上（57%）が、ご自身が利用できるお墓を持っています。

墓地の形態としては、市営墓地や地域等で管理している墓地、寺院等で管理している霊苑内の墓地が9割以上を占め、納骨堂、合葬式墓地はそれぞれ1%と非常に少ないことが分かりました。

一方、お墓を持っていない方については、質問3において、今後希望するお墓の形態は、分からないが一番多く（30%）、お墓は必要ない（26%）、納骨堂（23%）、合葬式墓地（13%）と続き、区画式墓地を希望される方は、寺院等、市営を合わせて6%という結果でした。

質問4では、それぞれの回答が一定数あり、お墓に対する意識が多様化している現れだと思われま

す。質問5では、41%の方々が市で合葬式墓地を整備する必要があると回答をいただく一方で、分からないが50%という結果でした。質問6においても、墓地の今後の在り方などに多様な意見が寄せられており、墓地に対する考え方が様々あることがわかりました。

このことから、今後の市営墓地において必要となる整備も含め、更なる市民の方の意見を把握し、墓地の在り方を幅広く検討していく必要があると考えています。

### (3) ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」に関する調査

多くのご回答をいただき誠にありがとうございました。

今回のアンケートで、「水のこえ」が「家庭に届けられていることを知らなかった」「家庭に届けられているのは知っていたが、読んだ事はなかった」と回答された方が3割程度となり、水のこえをお読みいただけている割合が依然として高くないという結果となりました。

紙面の見やすさ、読みやすさについては、「普通」「見にくい、読みにくい」と回答された方が7割弱となり、読みやすいと感じていただけている割合が昨年度に比べ若干上昇したものの、高くないということが分かりました。読みやすさと関連が深い各種情報量について、どの項目も「ちょうどよかった」と回答された方が9割弱と高い割合となりましたが、その中でも、文字が多いと感じられた方と、画像・イラストが少ないと感じられた方が比較的多いということが分かり、そのことが読みやすいと感じていただけている割合が高くないことにつながっていると考えています。

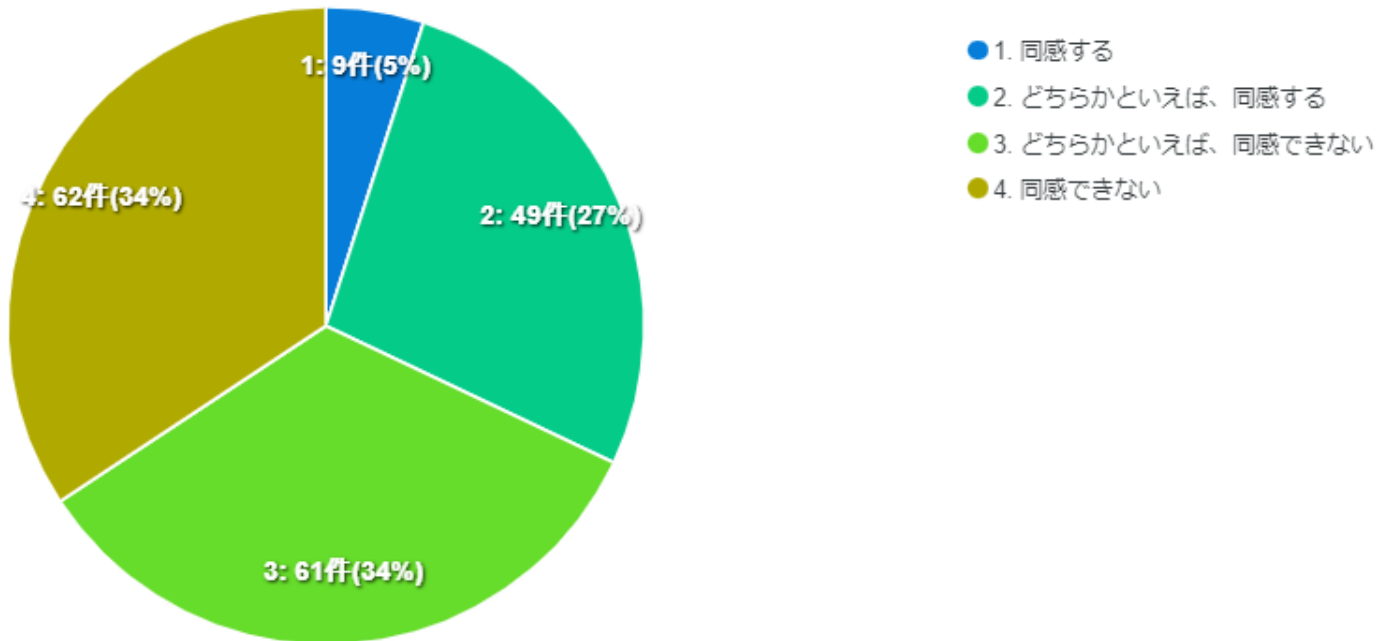
記事の内容については、初めて知ったことがあった方や、記事から何か実践してみようと思った方が多くないという結果となりました。

この結果から、文字と写真・イラストの割合をさらに工夫して読みやすいと感じられる記事にすることや、多くの人々の興味を引く記事を掲載することによって、ご家庭に配布された際に手に取って読んで見ようと思っただけのような一層の改善が必要だと考えています。

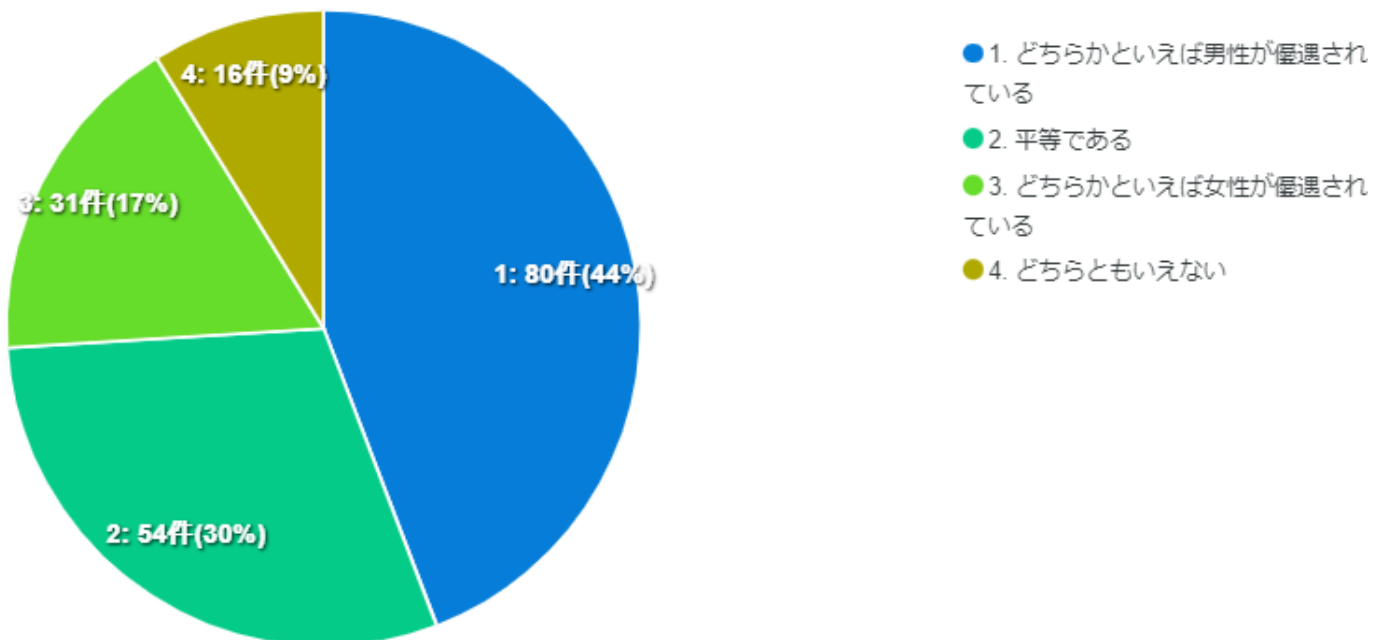
## 6 項目別の結果

(1) 男女共同参画に関する意識、実態調査について（問1～問8）

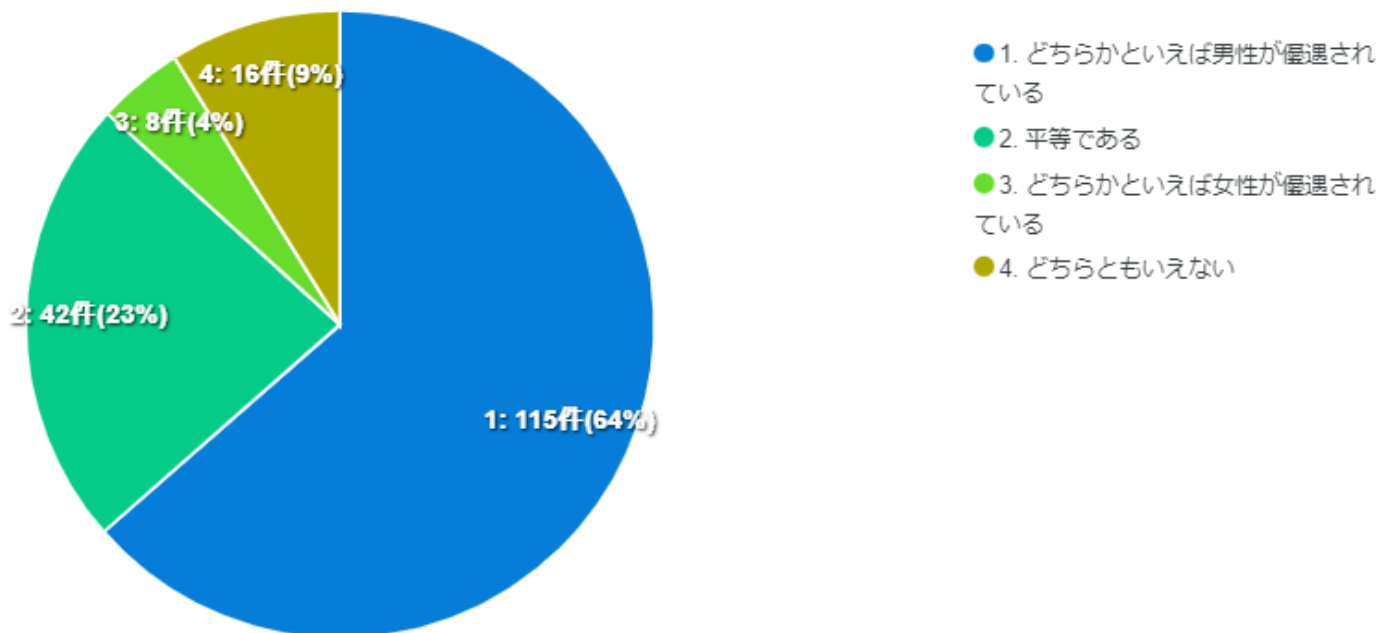
質問1. あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どのように思いますか。



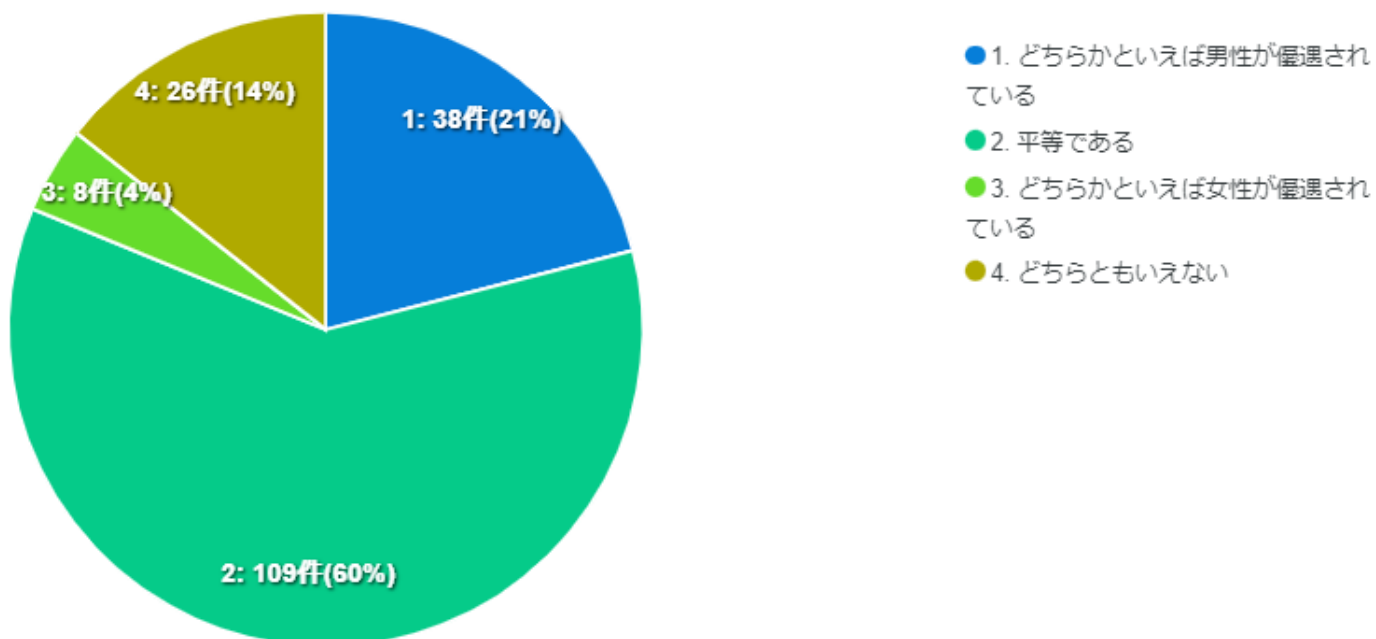
質問2—1. あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか。【家庭生活】



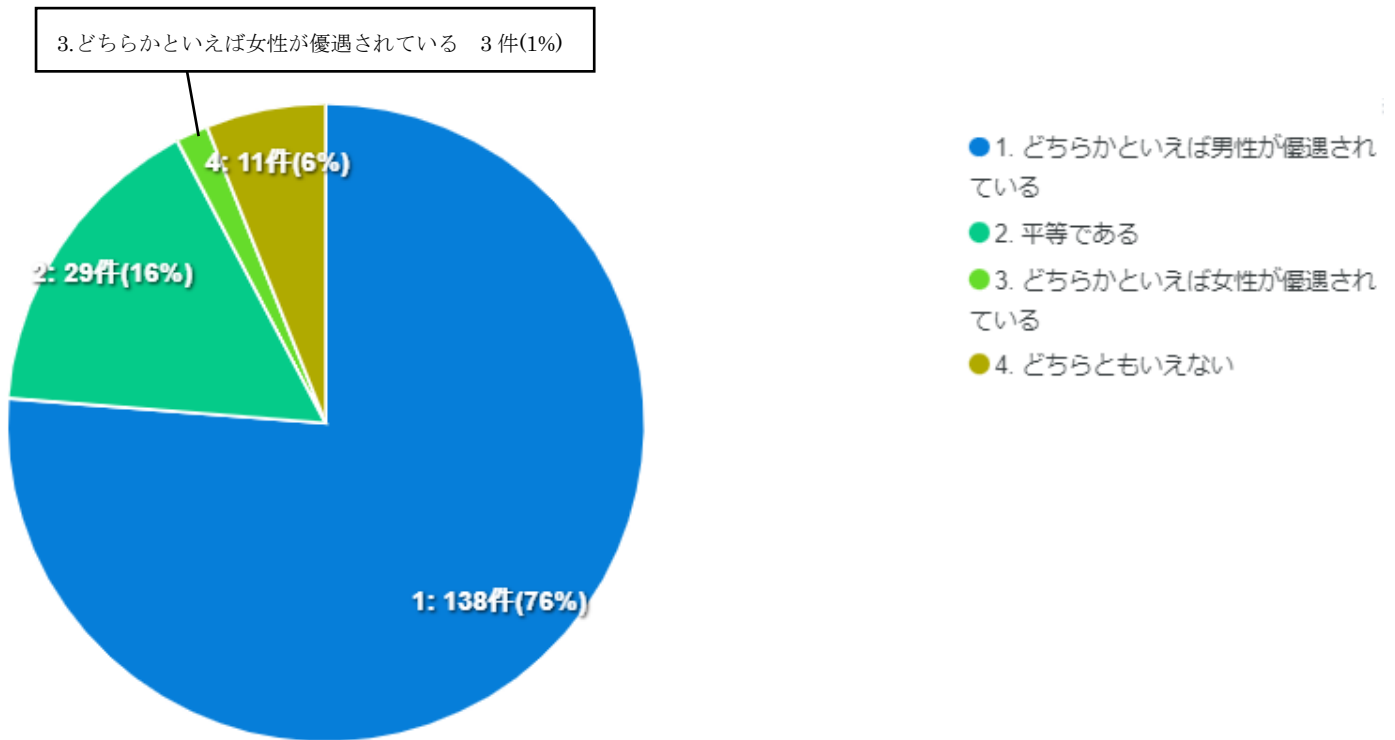
質問2—2.あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか。【職場】



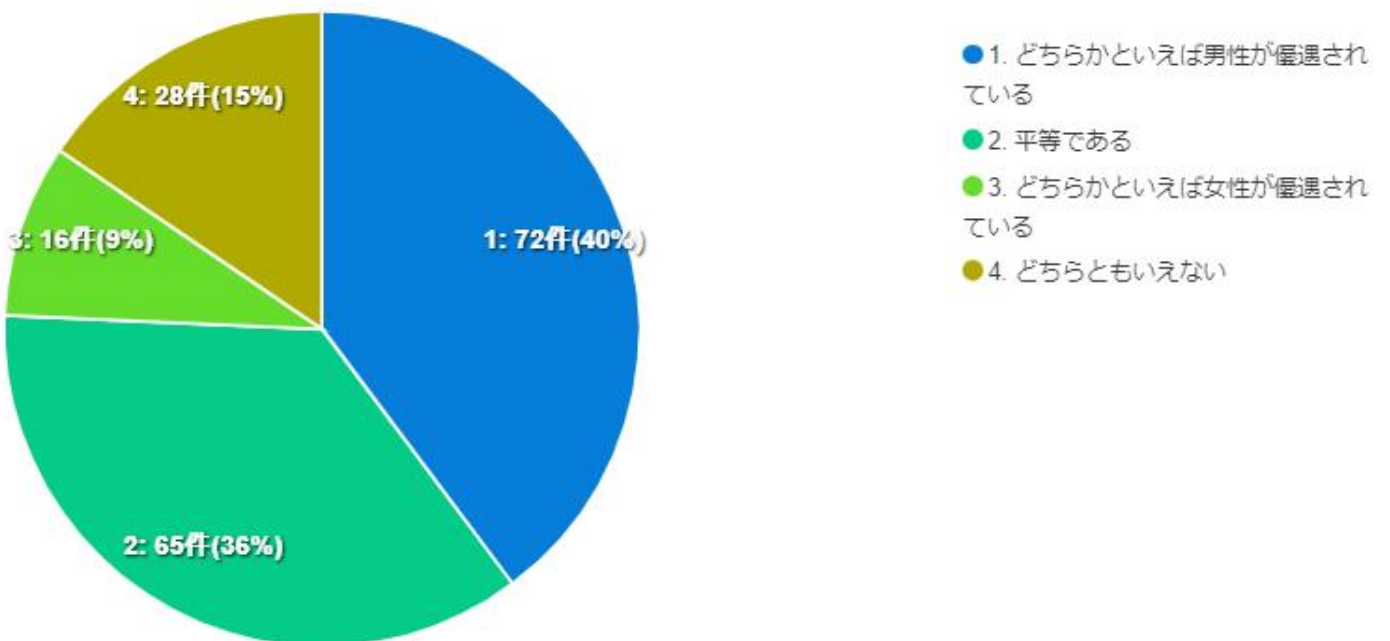
質問2—3.あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか。【学校教育の場】



質問2—4. あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか。【政治の場】

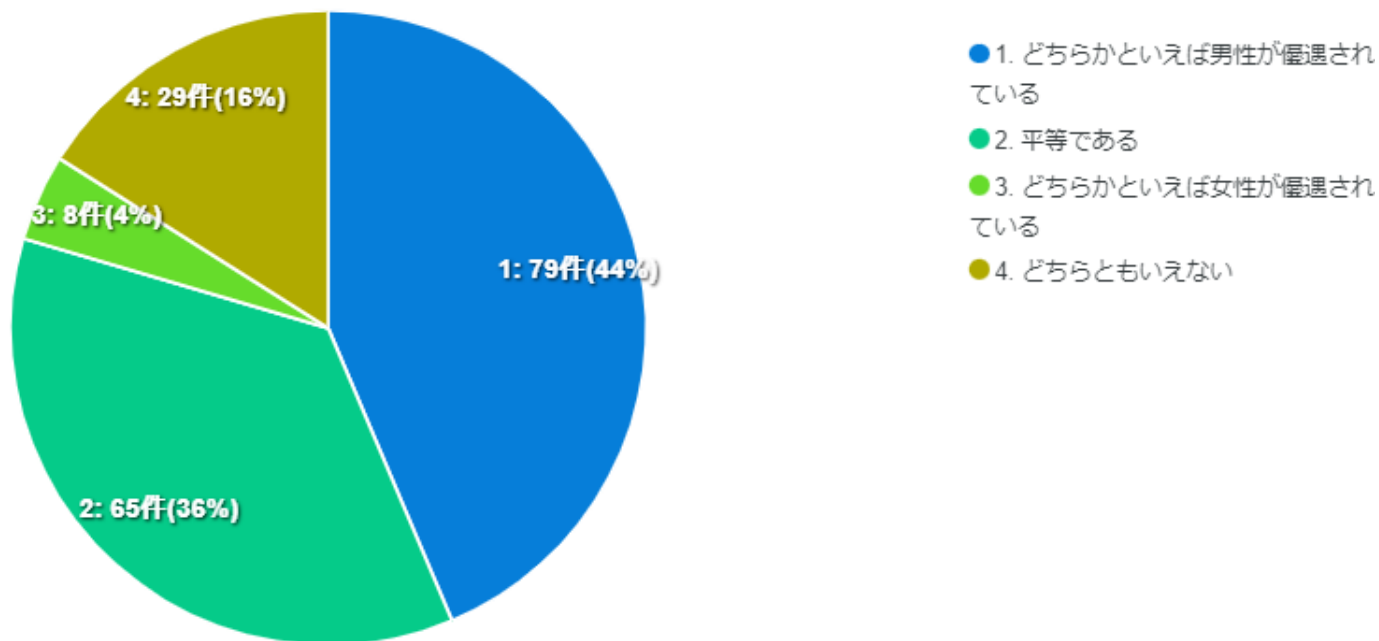


質問2—5. あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか。【地域の活動の場】

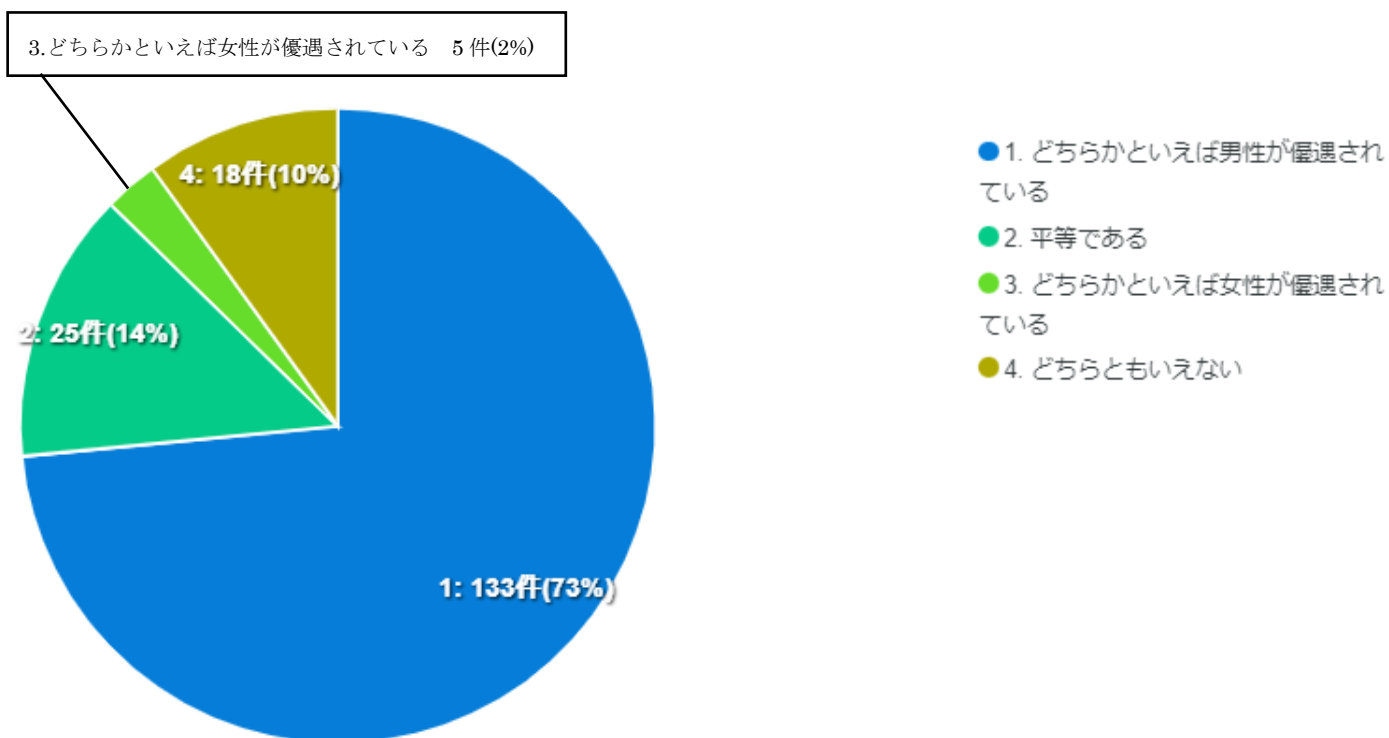




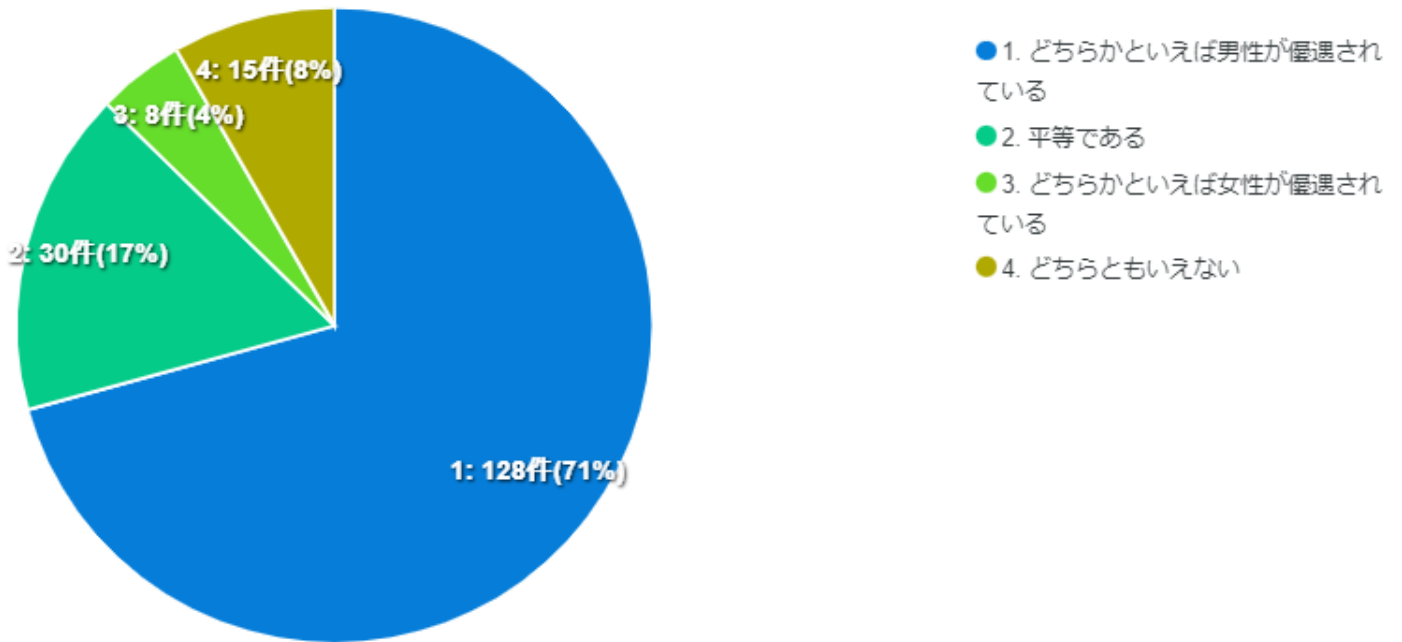
質問2—6. あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか。【法律や制度】



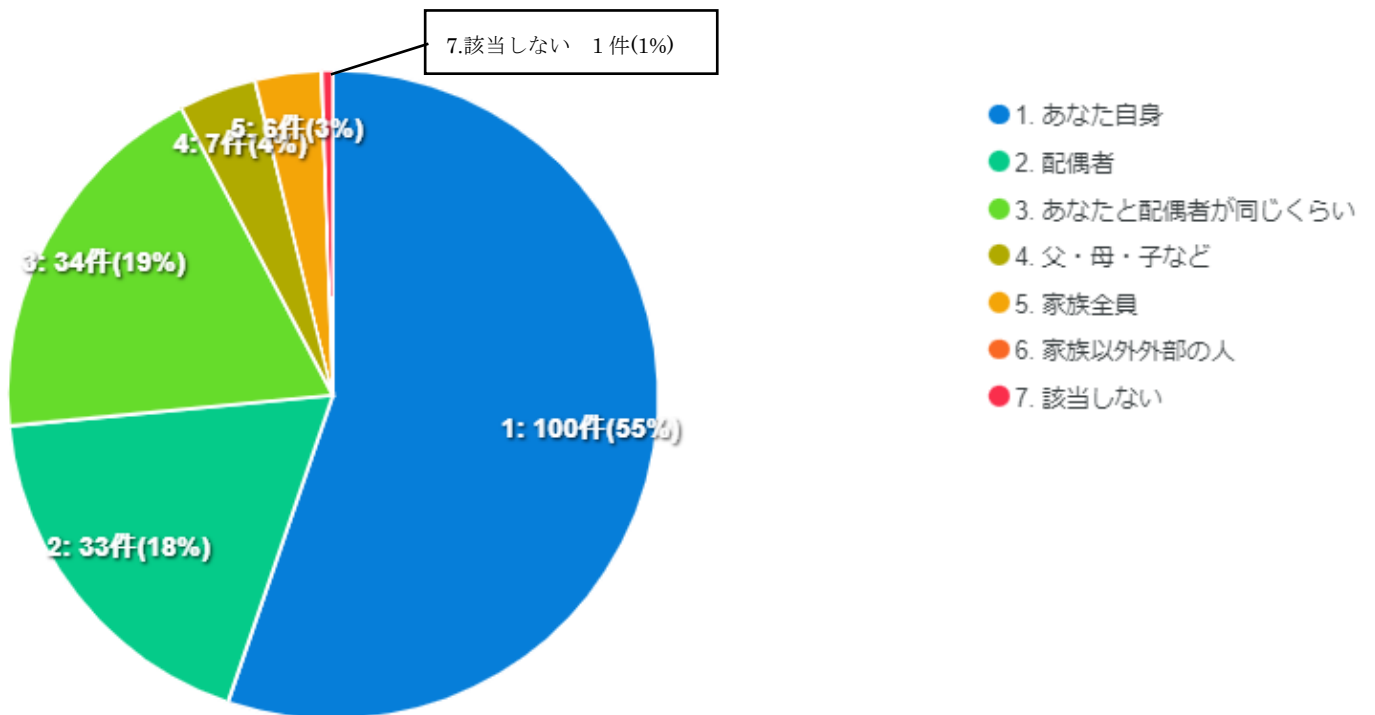
質問2—7. あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか。【しきたりや習慣】



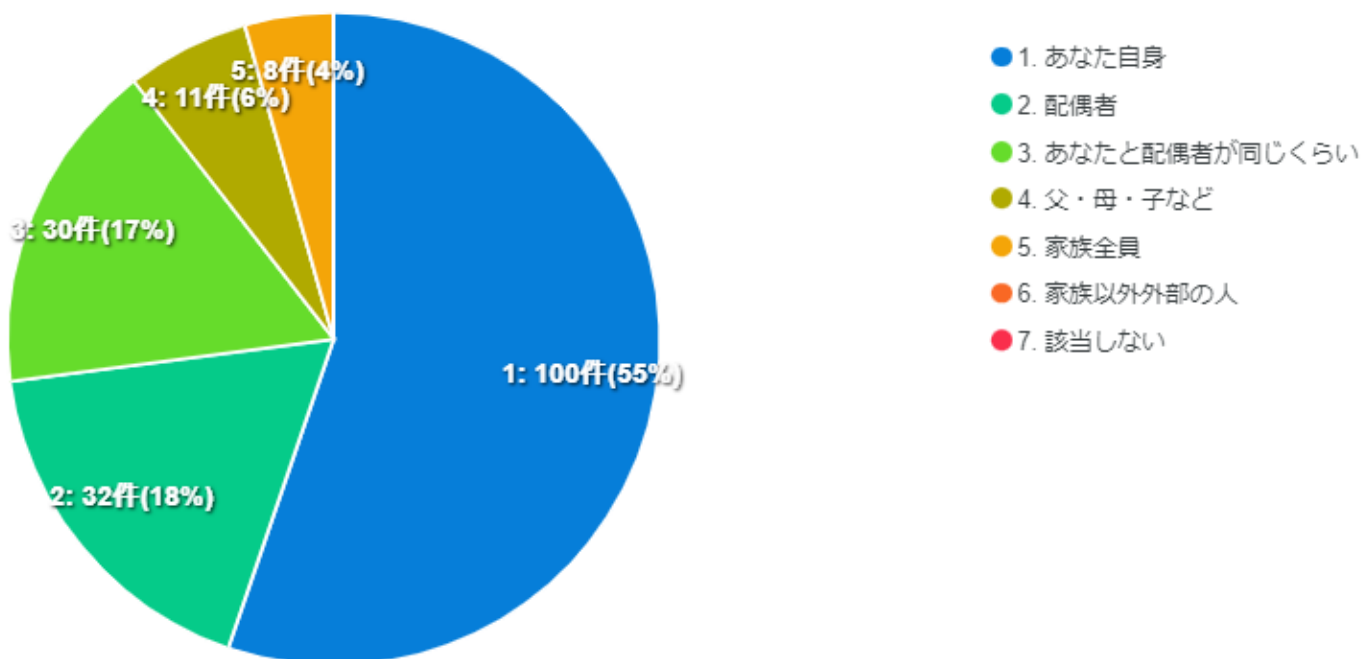
質問2—8.あなたは、次にあげる分野の男女の地位についてどう思いますか。【社会全体】



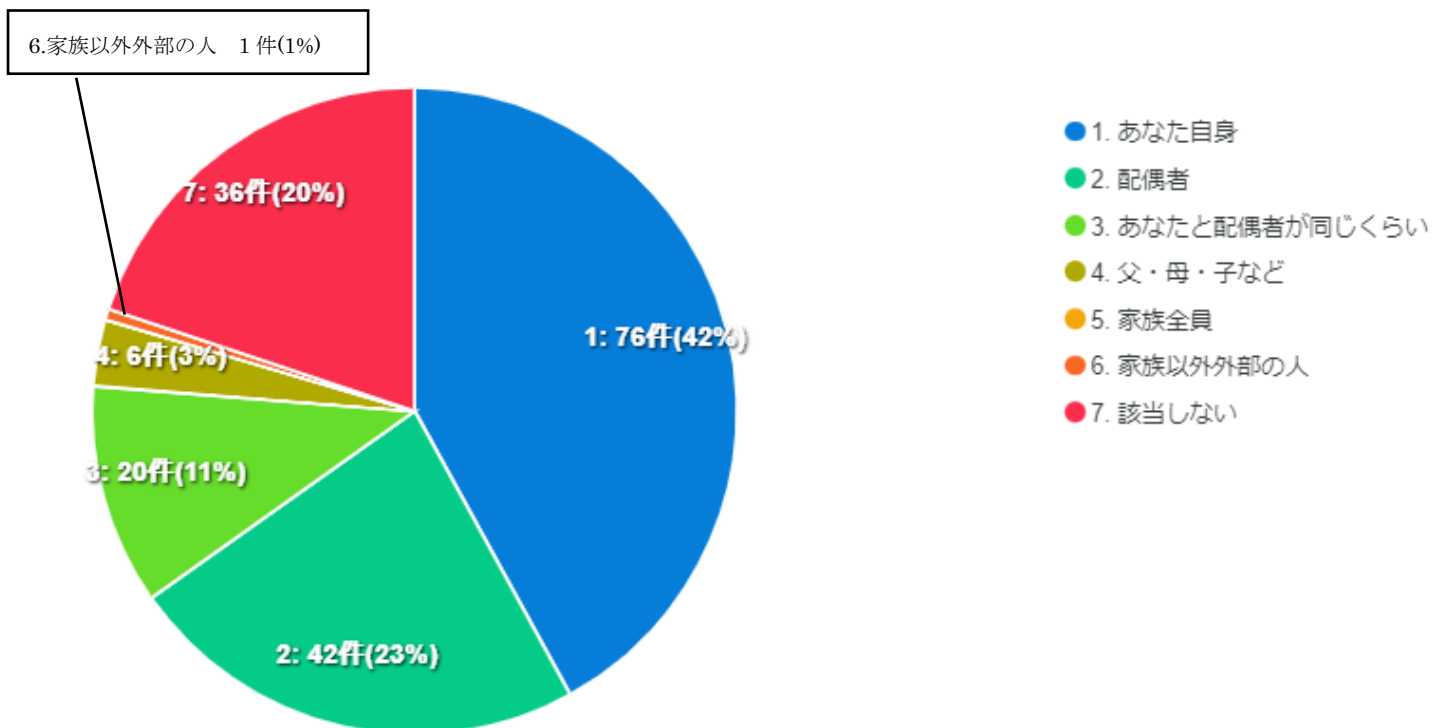
質問3—1.あなたの家庭では、家事や育児、介護などについて主に誰が担っていますか。【掃除・洗濯などの家事】



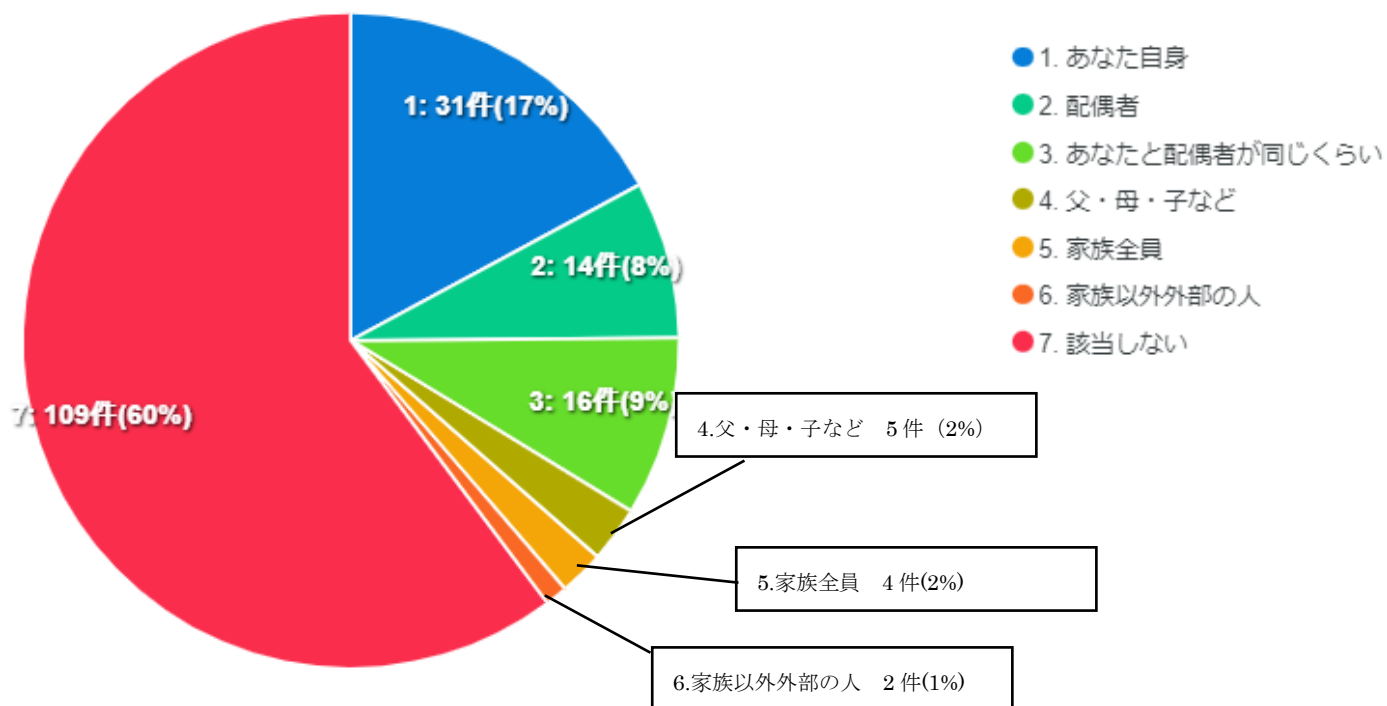
質問3—2.あなたの家庭では、家事や育児、介護などについて主に誰が担っていますか。【食事の支度や後片付けなどの家事】



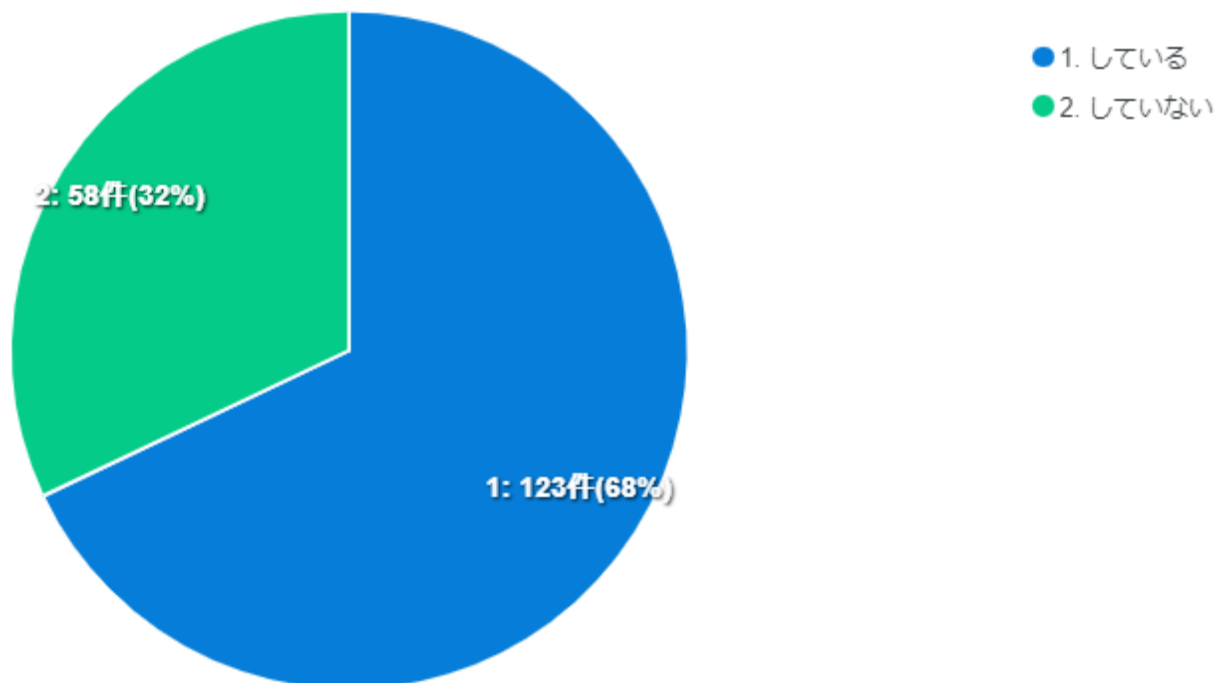
質問3—3.あなたの家庭では、家事や育児、介護などについて主に誰が担っていますか。【育児（過去から現在までで該当ある場合）】



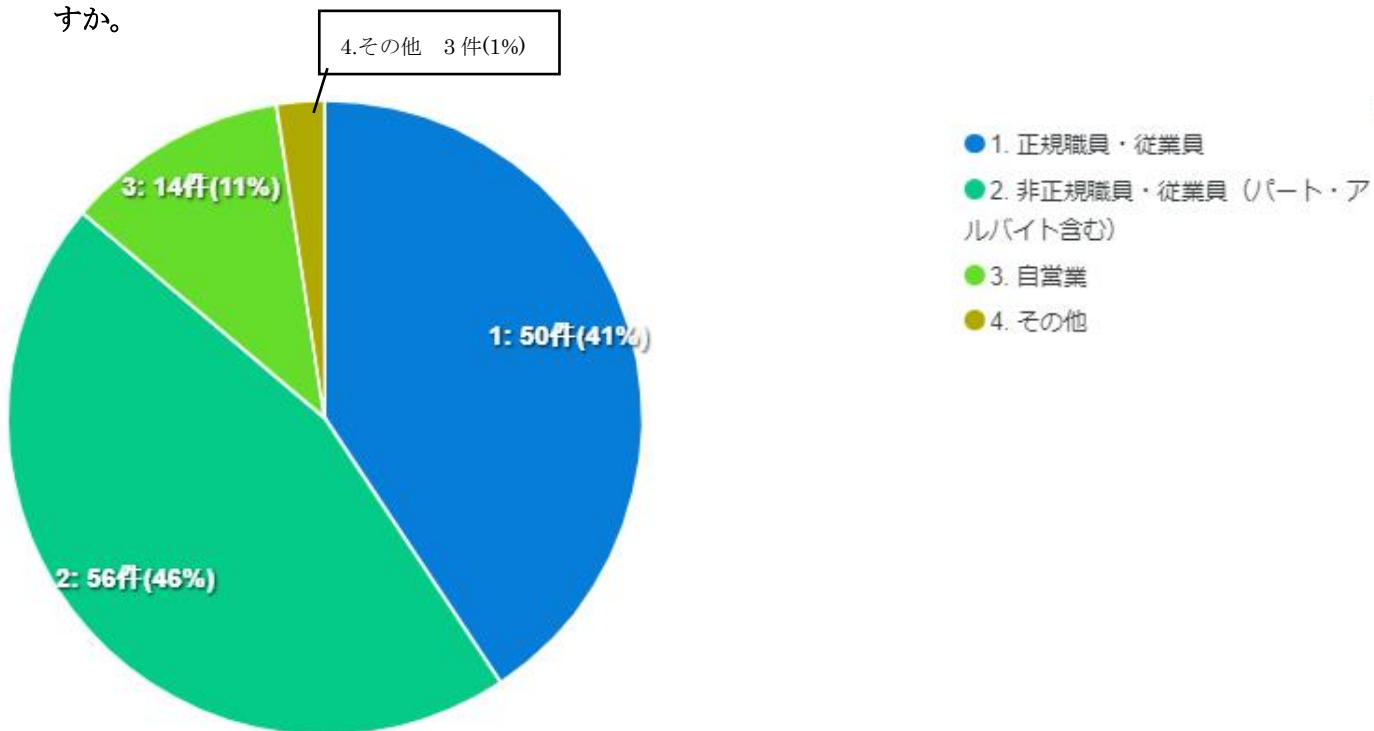
質問3—4.あなたの家庭では、家事や育児、介護などについて主に誰が担っていますか。【介護（過去から現在までで該当ある場合）】



質問4.あなたは、収入を伴う仕事（パート、自営業、臨時、在宅勤務などを含む）をしていますか。



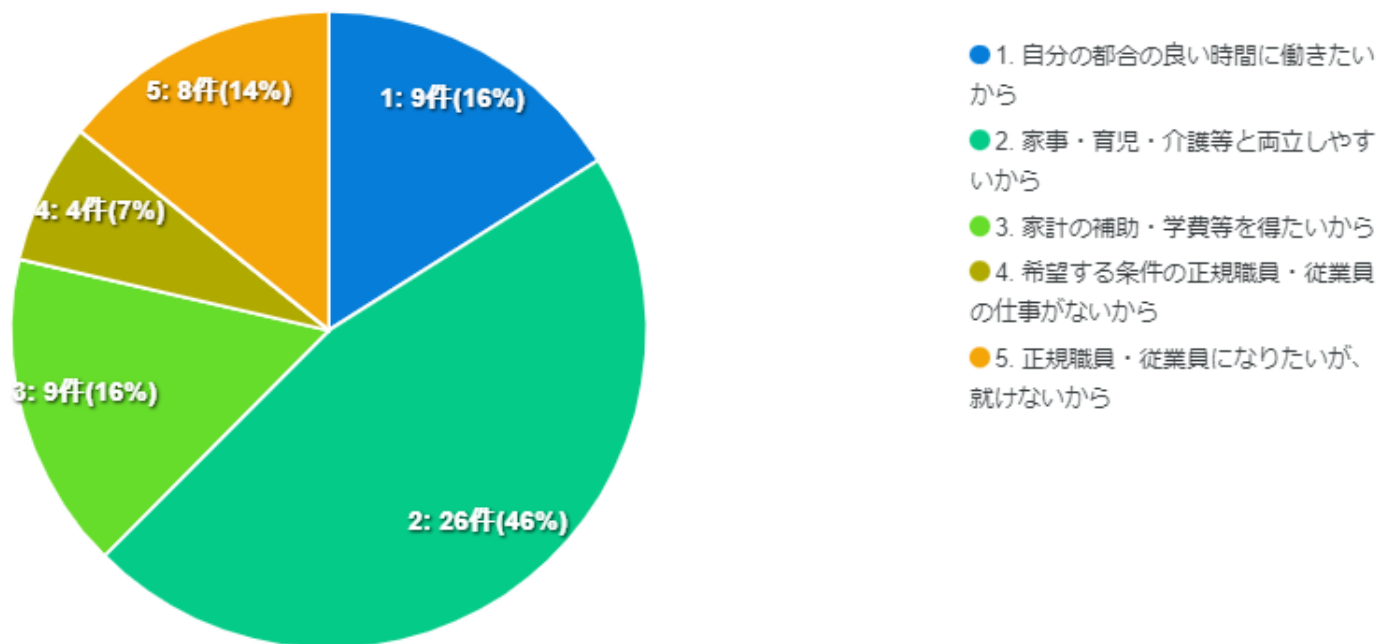
質問5. 質問4で「している」と答えた方にお聞きします。あなたの就業形態は以下の内、どれですか。



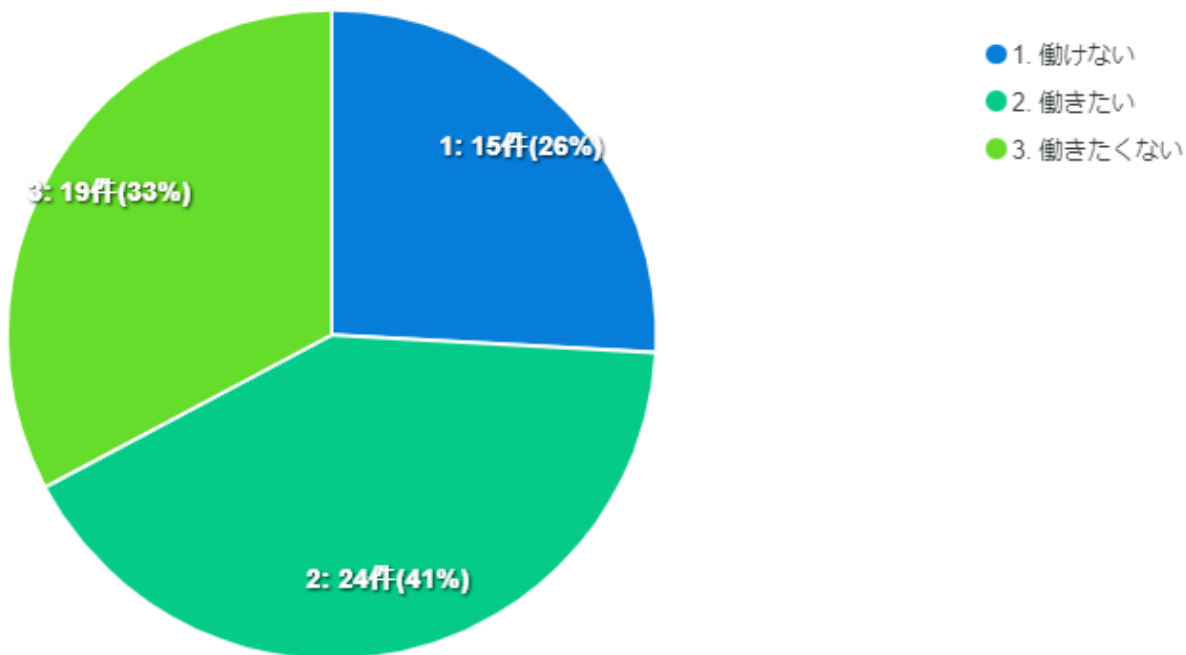
その他 (一部抜粋)

- フリーランスのような個人契約
- 会社役員 (非常勤)

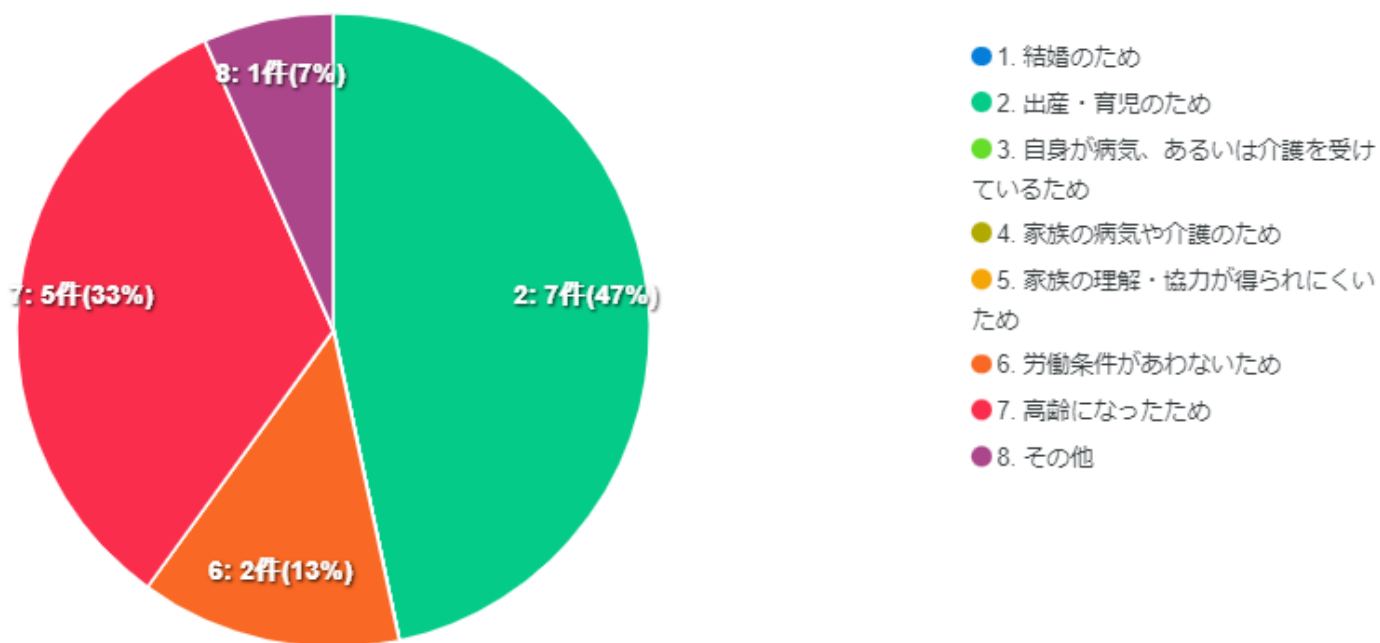
質問5-1. 質問5で「非正規職員・従業員」と答えた方にお聞きします。あなたが非正規の職員・従業員に就いた主な理由は何ですか。



質問6.質問4で「していない」と答えた方にお聞きします。今後、どうしたいですか。



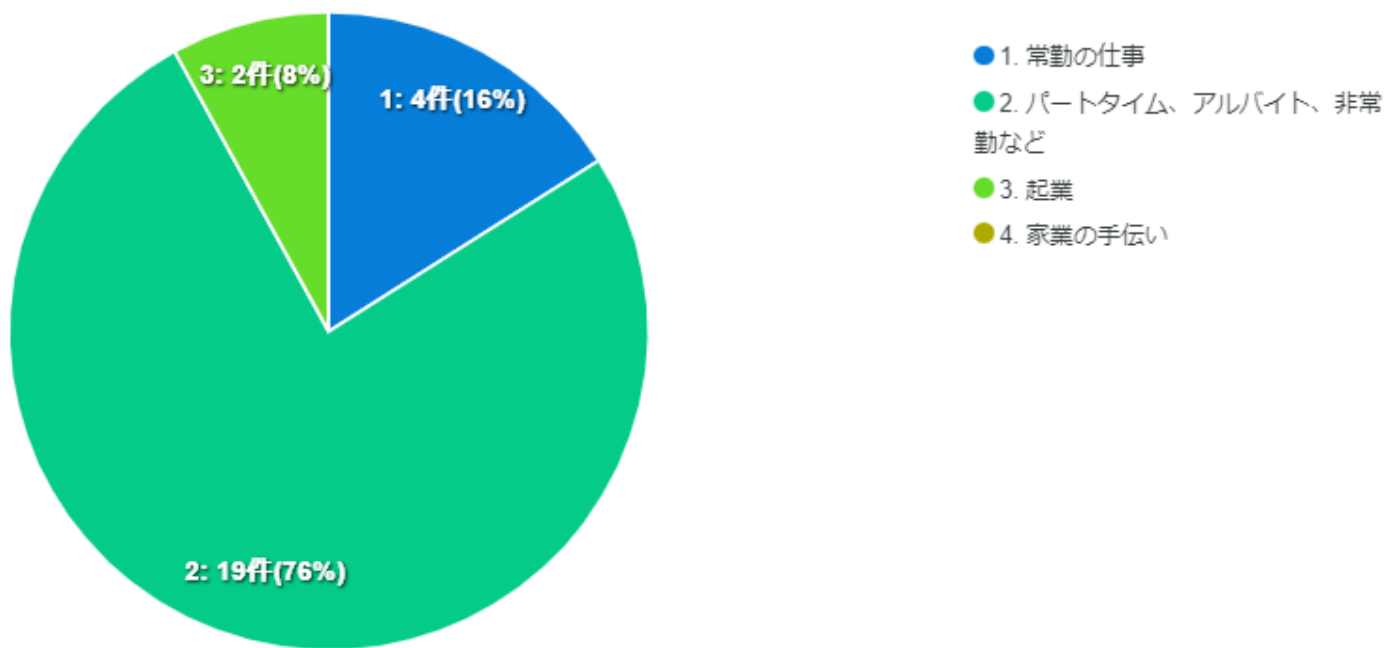
質問6-1.質問6で「働けない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。



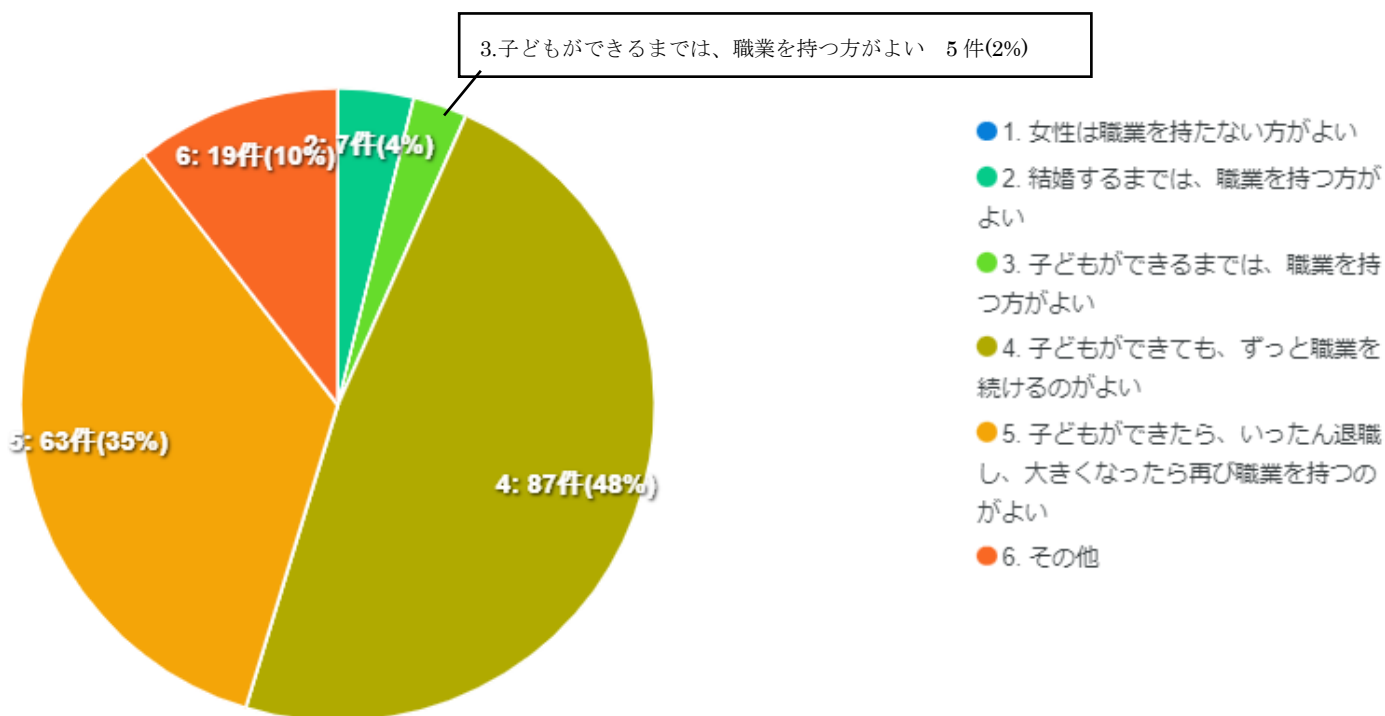
その他〈一部抜粋〉

■家族へのサポートが必要なため。

質問6-2.質問6で「働きたい」と答えた方にお聞きします。どのような形で働きたいとお考えですか。



質問7.あなたは、女性が職業を持つことについてどう思いますか。

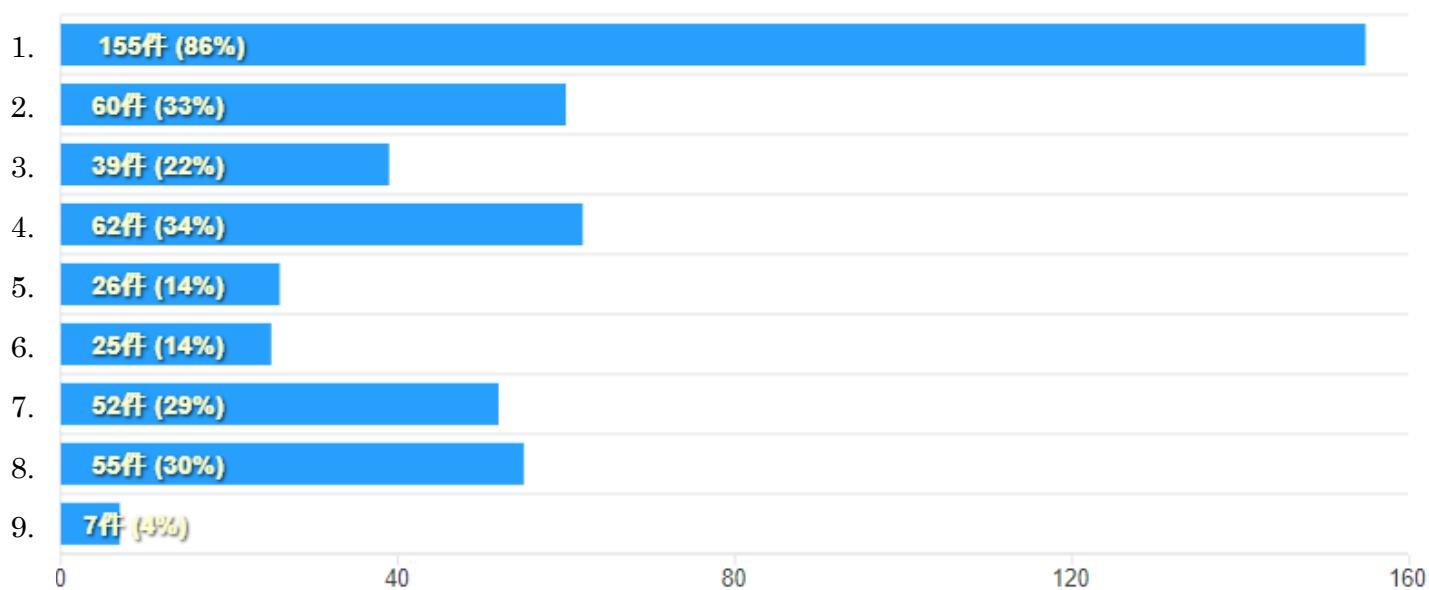


その他〈一部抜粋〉

- 各人の事情による。
- 子どもができた後、預かり等がしっかりできて子供にも自分にも精神的負担がかからないのなら、職業を持つ方がよい。
- 子供がいよいよが、働きたいと思ったら働ける社会であるとよい。
- 能力と意欲と家族の協力に個人差があり一概に言えない。女性に限らず男性でも同じこと。

質問8.女性が職業を持ち続けていくうえで、問題と思われることは何だと思えますか。

- 1.家事や育児・介護との両立が難しい
- 2.家族の協力や理解が得られない
- 3.職場が責任ある仕事を女性に任せない
- 4.男性に比べて賃金が安く、職種も限られている
- 5.女性自身の職業に対する自覚が不足している
- 6.女性の勤続年数が平均的に短い
- 7.時間外労働（残業）や深夜労働をさせにくいとされている
- 8.顧客や取引先を含め、社会一般の理解が不十分である
- 9.その他



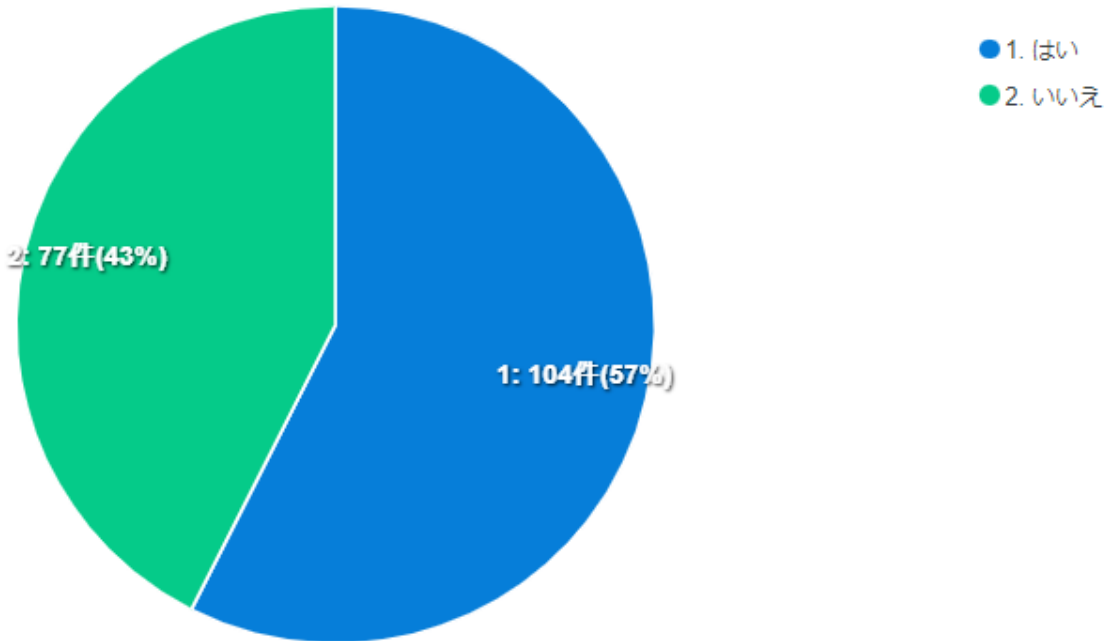
#### その他（一部抜粋）

- 共働き夫婦に対して地域の理解が乏しい。
- 査定評価で低く評価され、出世できない。
- 民間学童など、子供の預かり先の不足。
- 女性は生理も含め、男性よりも体力や筋力が劣るので、同等に働こうとすると、心身がしんどい面がある。

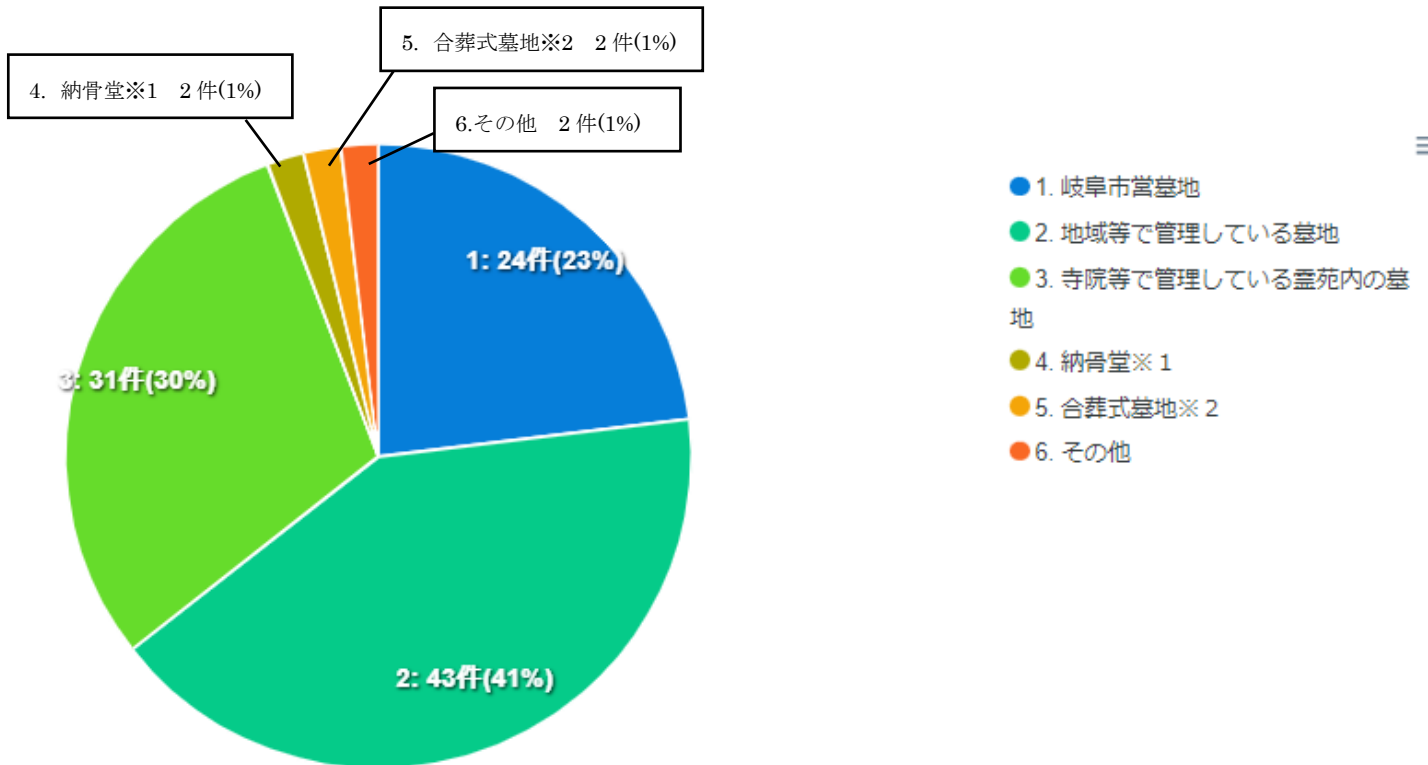


(2) 市営墓地の在り方について（問1～問6）

質問1.現在、ご自身が利用できるお墓を持っていますか。【（主に親族が管理しているお墓があり、将来的に子や親族等で引き継ぐ場合は、「はい」にしてください）】



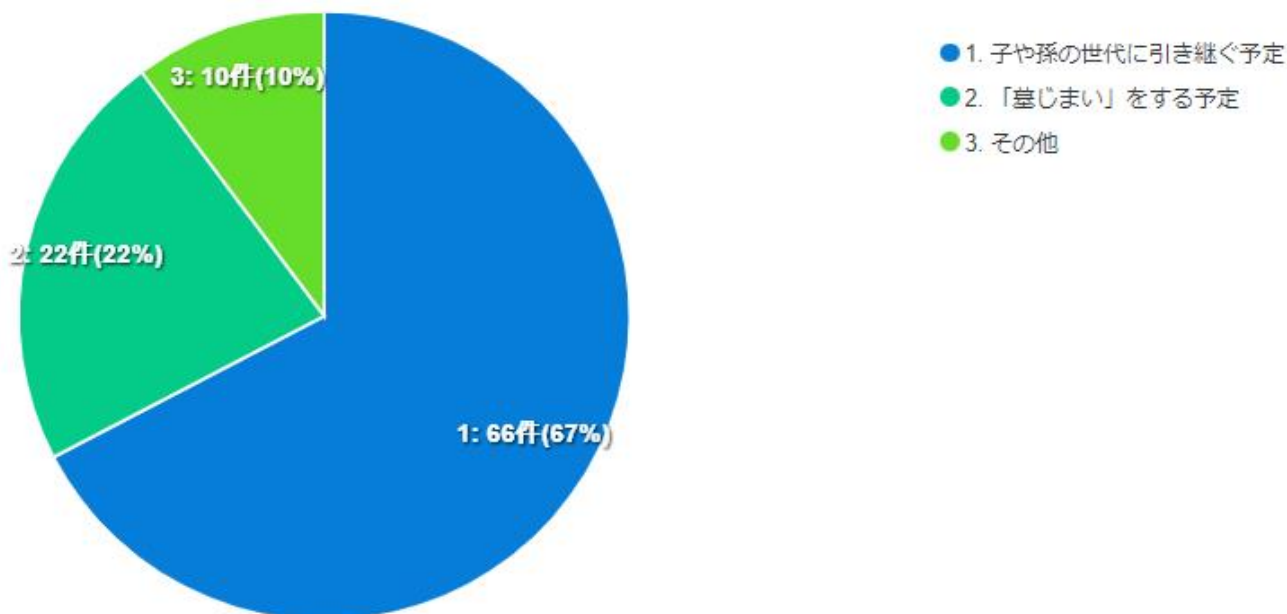
質問2.質問1で「はい」と答えた方にお聞きします。どのような形態のお墓ですか。【※1納骨堂…ひとつの施設内に多数の納骨スペースを設け、個別に焼骨を納める形式 ※2合葬式墓地…家族単位ではなく広く共同に利用し、ひとつのスペースに多くの焼骨を合同で納める形式 例：樹木型、慰霊碑型など】



その他〈一部抜粋〉

- 他市の市営墓地
- 実家のある市町村にある先祖代々の墓地

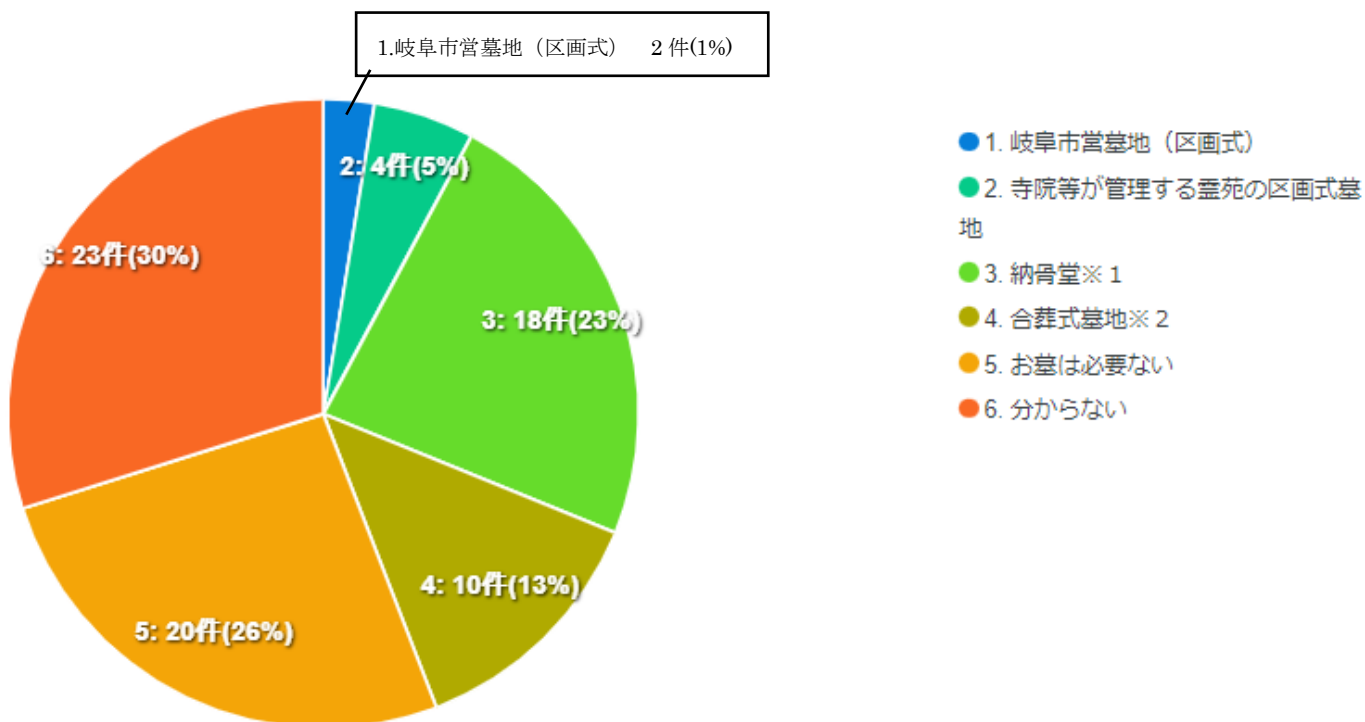
質問2-1. 今後のお墓についてどのように考えていますか。



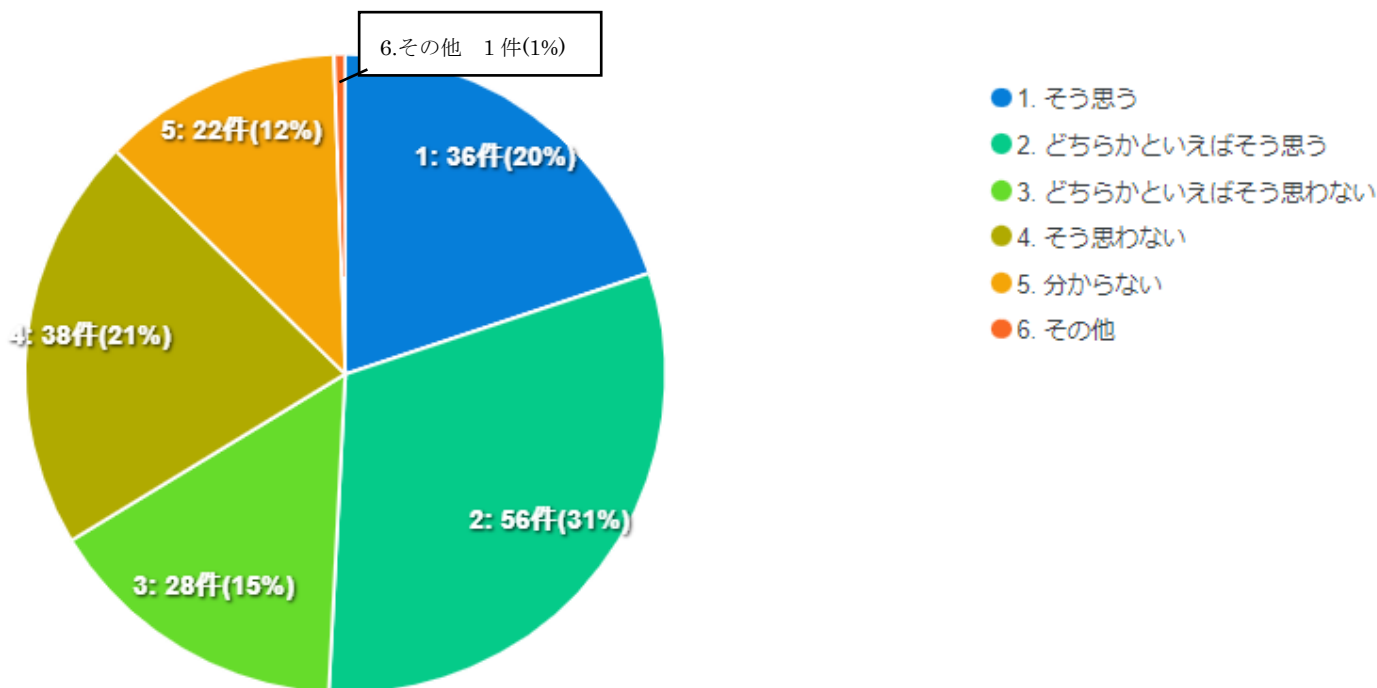
その他（一部抜粋）

- 自宅から遠いので出来る事なら移設したい。
- 今後の具体的な予定は未定。どうしていくかは考えないといけないと思っている。
- まだ決めていない。

質問3. 質問1で「いいえ」と答えた方にお聞きします。どのような形態のお墓がほしいですか。[※ 1 納骨堂…ひとつの施設内に多数の納骨スペースを設け、個別に焼骨を納める形式 ※ 2 合葬式墓地…家族単位ではなく広く共同に利用し、ひとつのスペースに多くの焼骨を合同で納める形式 例：樹木型、慰霊碑型など]



質問4.最近では、「お墓」の管理について、子供や親族がいない等、将来のお墓の管理が心配、お墓の清掃などへの負担感の増加等「お墓に対する意識が変化している」といった声も聞こえてきます。先祖からのお墓を受け継いで守ることが子孫の務めだという考えについてどう思いますか。



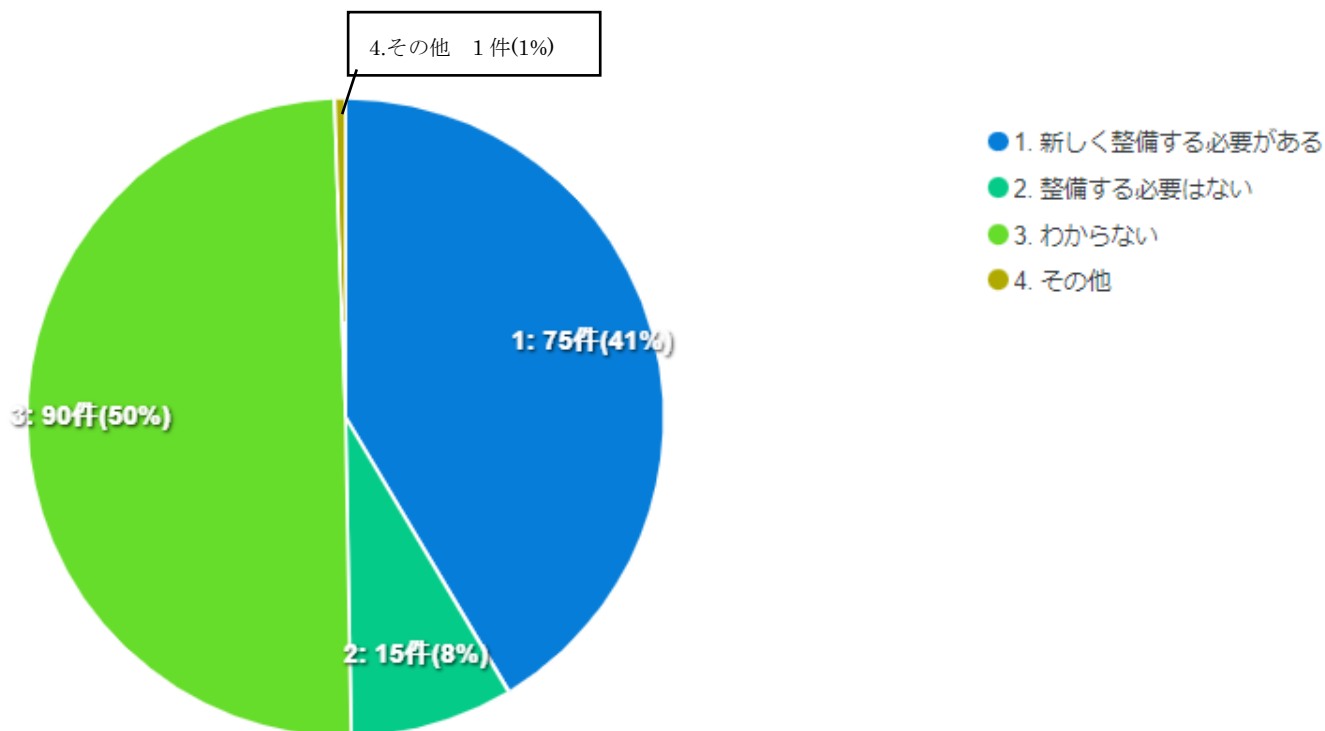
#### その他〈一部抜粋〉

■「どちらかといえばそう思う」けれど、現実問題、お墓の管理が面倒なので、関わりたくない気持ちもある。

質問4—1.その理由について教えてください。(質問4で3. どちらかといえばそう思わない。4. そう思わないを選択した場合のみ)【自由記述】〈一部抜粋〉

- 合葬式墓地を利用しているため。
- お墓を相続していくことが子孫への負担になるし、必ずしも相続が上手く行かない世帯もたくさんあると思う。
- 生きている人間にお金をかけるべきだから。
- お墓は不要だから。
- 墓は記念碑だから思いがあれば参れば良い、務めとは違う。
- 海外や全国転勤などがある方も多く、地元に住んでいる方の方が少ない。お墓参りも子孫に負担をかけると思うので、必要ない。オンライン墓参りなども検討したらよい。
- 自分の子どもに負担をかけたくないので、各家庭の自由にしてほしい。親族などが遠方で、お墓がたくさん残されると困る。
- お墓よりも自宅に仏壇もしくは個人それぞれの思いがこもった仏具などがあれば十分だと思う。
- 自分が死んだら世話をしてほしいと思わないから。
- 昔の習慣を子どもに強いるのは間違っていると思うので。
- 子孫の務めというより子孫が墓を守りたいという気持ちを持つかどうかということである。
- 子供が減る一方で墓は増える、であれば子供や孫に墓の管理を押し付けるのはどうかと思う。正直言うと私の代で引き継いだ墓を墓じまいしたいと思っている。

質問5.現在、岐阜市営墓地では「区画式」のお墓のみを管理していますが、今後、合葬式墓地を整備する必要があると思いますか。



#### その他〈一部抜粋〉

■区画式と合葬式の両運営するなら良いのでは。区画式廃止なら管理を楽にしたいだけの手抜きに感じるし、郷土愛喪失に繋がる可能性がある。

質問5—1.その理由について教えてください。(質問5で2.整備する必要はないを選択した場合のみ)【自由記述】〈一部抜粋〉

- 区画式を継続すべきと思うから。
- 需要ないと推測。
- 難しい問題だと思いますが...お墓の管理に労力などを割く必要があるのでしょうか、お墓の整備より他のことに税金を使って欲しいです。(給食費無料など)
- 民間に任せれば良い。希望する人のみ自分で見つけて墓を用意すれば良い。
- 需要が今後は無くなっていく可能性が高いから。お墓を守る人もいなくなるから。
- 個人でやれば良いと思う。
- お墓が必要とは思わない。
- 需要がどこまであるか不明。
- 将来、墓地についての考え方もかわってくると思われます。市(行政)が管理するか疑問視するところがあります。
- 市民は既存のもので何とかするべき。

**質問6. 市営墓地の今後の在り方、その他墓地に対するご意見がありましたら、ご記入ください。【自由記述】〈一部抜粋〉**

- 現在市営墓地を使用しており、便利でありがたく思っています。
- 墓地や葬儀については、人それぞれ意見が異なるので色々な形態の選択肢があると良いと思う。
- 少子化が進む今墓地があるのは面倒をみきれなくなり放置される心配がある。
- 今後、未婚の単身世帯が増えることが予想されるので、墓地をどう準備すれば良いのか、情報発信が必要になると思う。
- 両親が昨年、少々遠方のお墓の維持管理が負担となってきたので自分たちができるうちに…と墓じまいをしたところです。後を継ぐ者もいないので、数年かけて親族に理解を求め、行いました。お墓があってもお参りする者も維持管理する者もないと、先祖代々のお墓も荒れてしまい悲しい状態になってしまいます。時代の流れの変化の中、親族間で話し合い、これからどうしていくのが実現可能なのか、行動できるうちに相談することが大切だと思います。市営墓地については、現在どのくらいの利用があるのかや、利用されているご家族の考えや気持ちに寄り添いながら今後のことを見据えていけることを願います。
- 私は墓がありますが、墓がない、管理者がいない方もいらっしゃる、その中には将来は墓に入りたいと思う方が一定数いらっしゃると思うので、市営墓地は必要だと思います。
- 現在、お墓の需要がどれくらいなのかとか実際にお墓が足りているのかもよくわからないのですが、例えば、大洞にある市営墓地を見ても、少なくとも数年、お墓詣りがされている気配のないお墓があります。それらが、いわゆる空き家状態なのかどうかはわかりませんが、もし、お墓の需要が足りていないという現実があるようなら、一度お墓の持ち主に希望を聞くのも良いかもしれません。その方々が、合葬式墓地を希望されるようなら、整備するのも一案ではないでしょうか。
- 墓地に対する思いは個人差が激しいと思うので折り合いをつけるのは大変だと思うがどんどん小規模していくといいと思う。
- 市民の意見をよく聞いて実行してもらいたい。
- 無縁化した墓地の管理はどうなっていくのか。
- お墓参りの意識が遠くなっていると思う。
- お墓詣りは祖先を敬う事なので、できる限りやりたい。
- 40代だが、ほんといつ先日同僚と墓地についてどうすべきか話し合ったところでした。どなたかから助言がないと、どうすべきなのか分からないです。
- できれば清掃等の維持管理をしてもらえる墓地または納骨堂のような形態にしてもらいたい。
- 市営なら安心。民営なら破綻リスクを意識せざるを得ない。(合葬墓ならなおさら)
- 岐阜市では墓地使用できる土地が不足しているとは考えていないが、これから先郊外にある墓地への墓参りが負担となることが多くなってくることも考えると、中心市街地もしくは公共交通に利便性の良いところに墓地ビルのようなものがあると良いのではと思います。
- 今まで何百年も代々受け継いできたお墓がある人は子孫が守ってくれると嬉しいと思います。しかし、分家していてこれから新しくお墓を買うのは、子供や孫に迷惑をかけたくないと思って買わない選択肢もあると思います。(墓じまいの大変さをニュースで見ているので)子供や孫に負担がかからない施設があるといいと思います。
- これから少子高齢化して人口もシュリンクしていくので、後世の人の重荷になるようなことは止めていく方が良く個人的には思っています。

■まだ具体的に考えたことはないが、私たち夫婦にも子供が授からなかったので子孫がないので将来のお墓事情など不安がある。

■お墓を持たないスタイルの家庭があると実際に聞いた事がある（墓じまい含む）ので、合同式墓地も増えるとよいと思う。

■様々な選択ができるのが望ましいと思う。

■これからは区画式でなく、永年供養の合葬式を市営とするのが、時代に合っていると思う。

■必要経費などの収支が取れるのであれば市営でよいと思う。連絡が取れない持主や放置されてるものは早く処分できるように条例等制定したほうがよいと思う。

■地域の墓を市で管理してほしい

■墓地について、どのようなどれくらいのニーズがあるか、年代別の無作為抽出法の調査が必要ではないかと思えます。

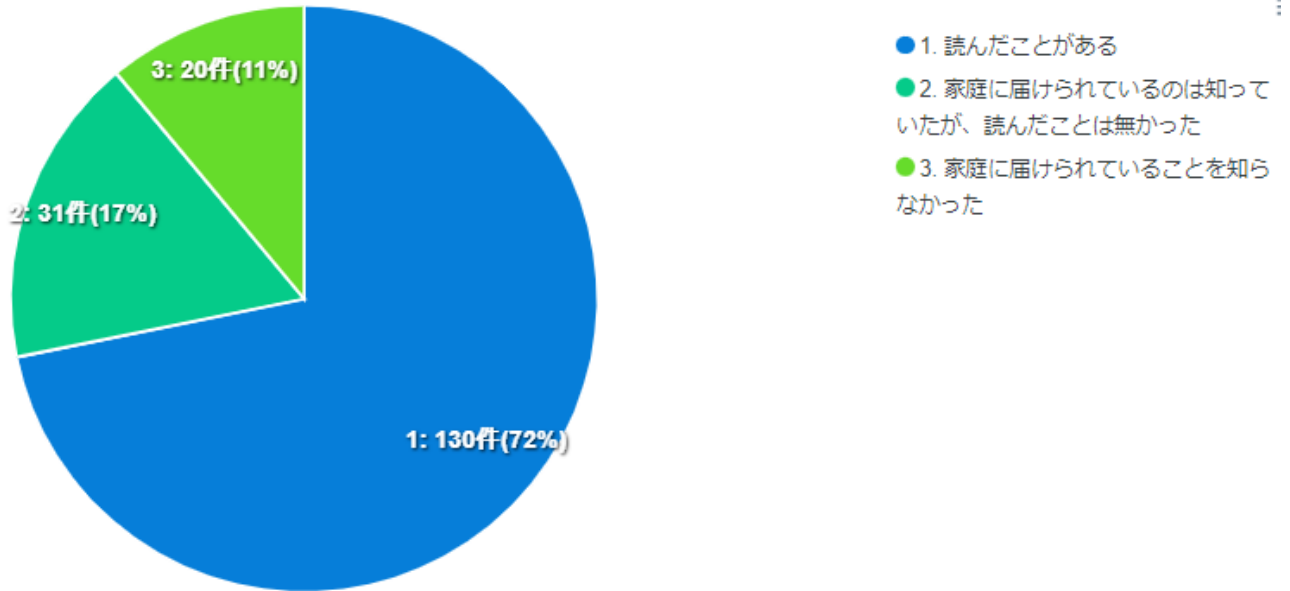
■お墓はあるが遠いため車が必要。免許を返納したら自由にいけない。街中の便利なところに合同墓地を作してほしい。

■将来の子孫に負担を負わせないようにしたい

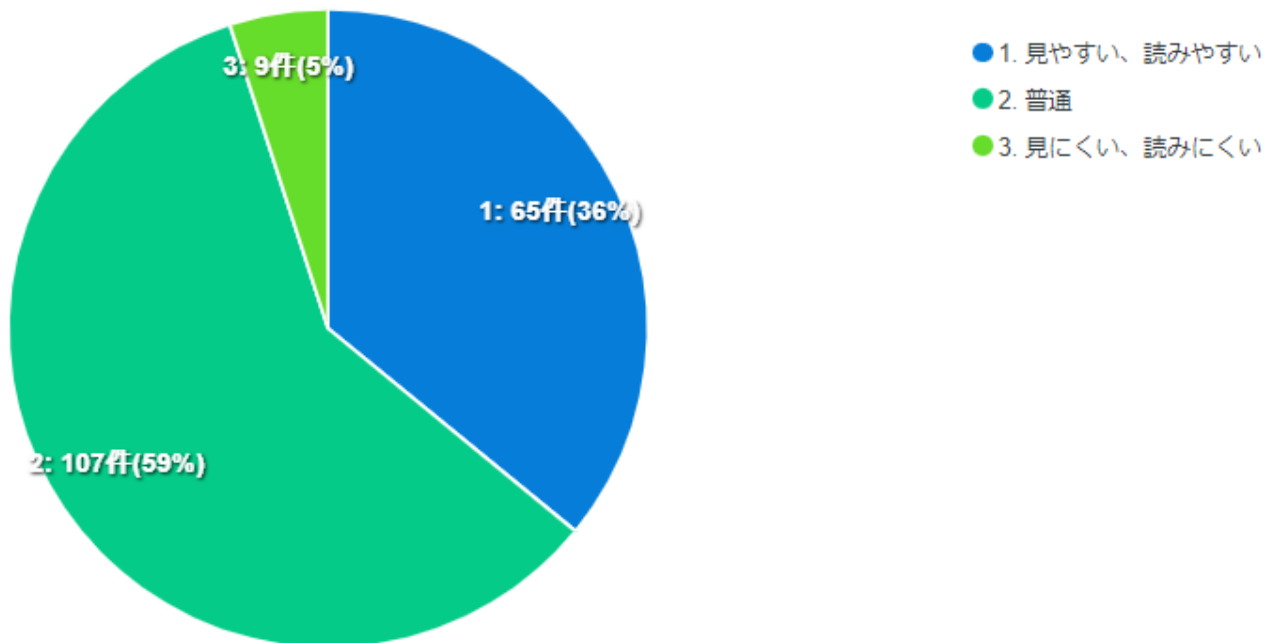
■お墓参りをして、ご先祖さまや亡くなった家族を偲ぶのは続けていきたいと思えます。ただ、大きな墓石の清掃や広い墓地の敷地内を移動するのは大変だと感じるため、墓石自体の形を縮小できたり一区画を小さくしてもいいのではと思いました。

(3) ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」に関する調査（問1～問11）

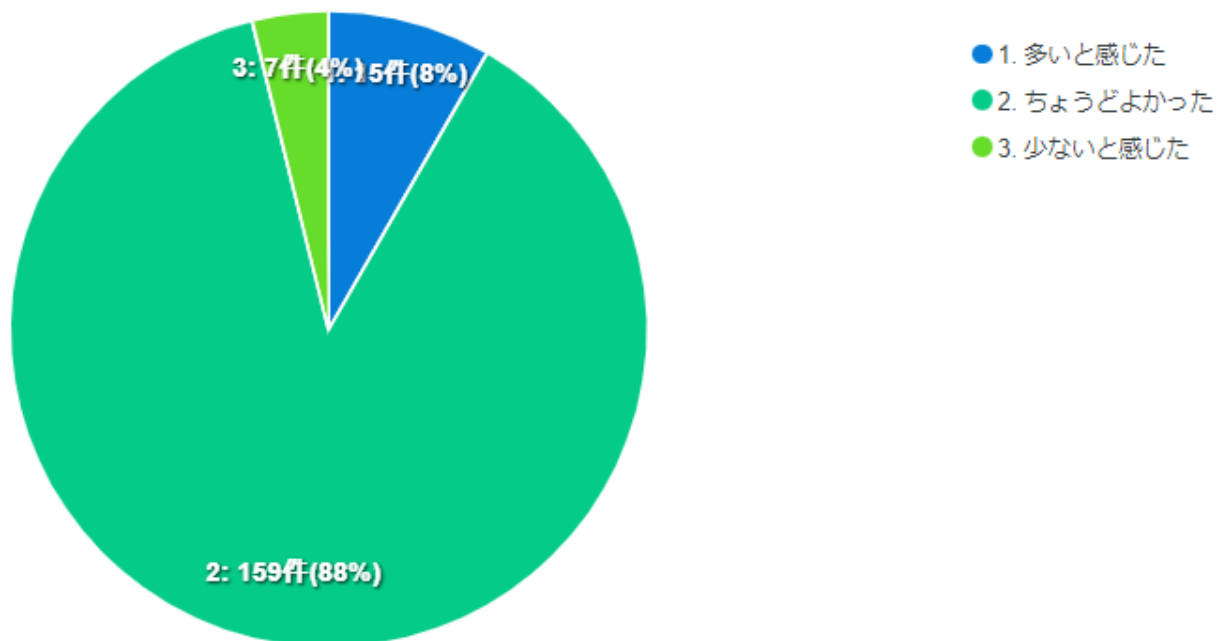
質問1. “ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」第52号”について、岐阜市内の全戸に配布しているのですが、今回のアンケート以前に知っていましたか？また、読んだことがありましたか？



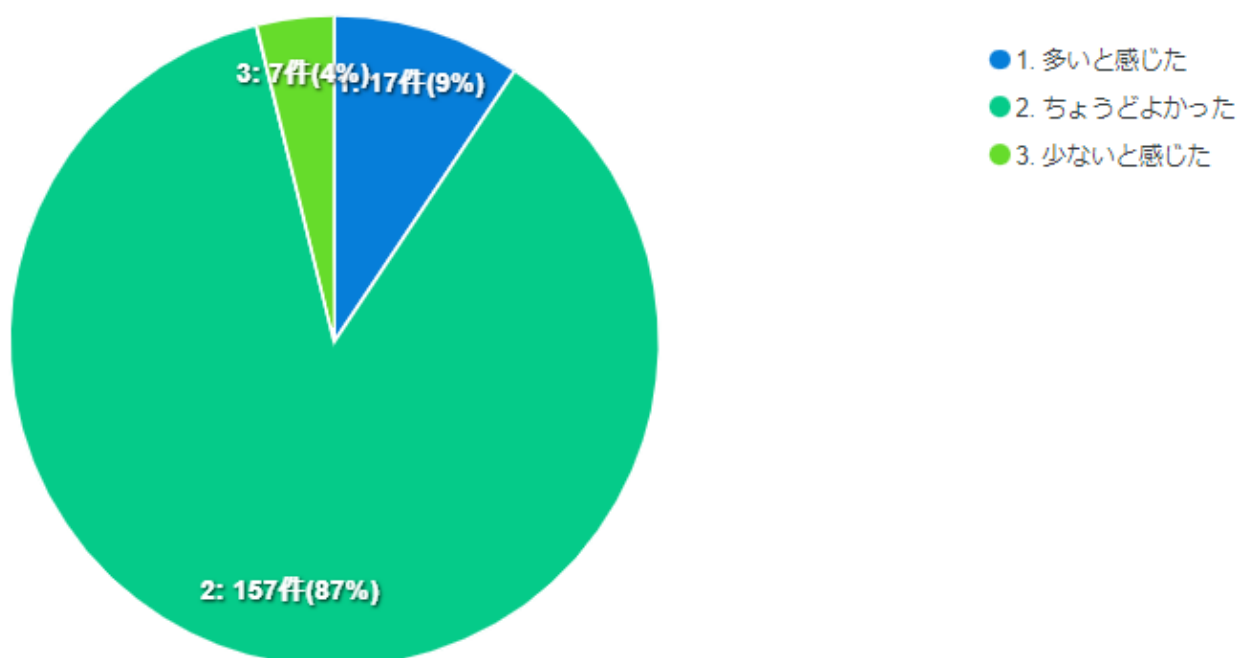
質問2. 「水のこえ」第52号の見やすさ、読みやすさについてどう感じましたか？



質問3—1. 「水のこえ」第52号の情報量についてどう感じましたか？【ページ数】

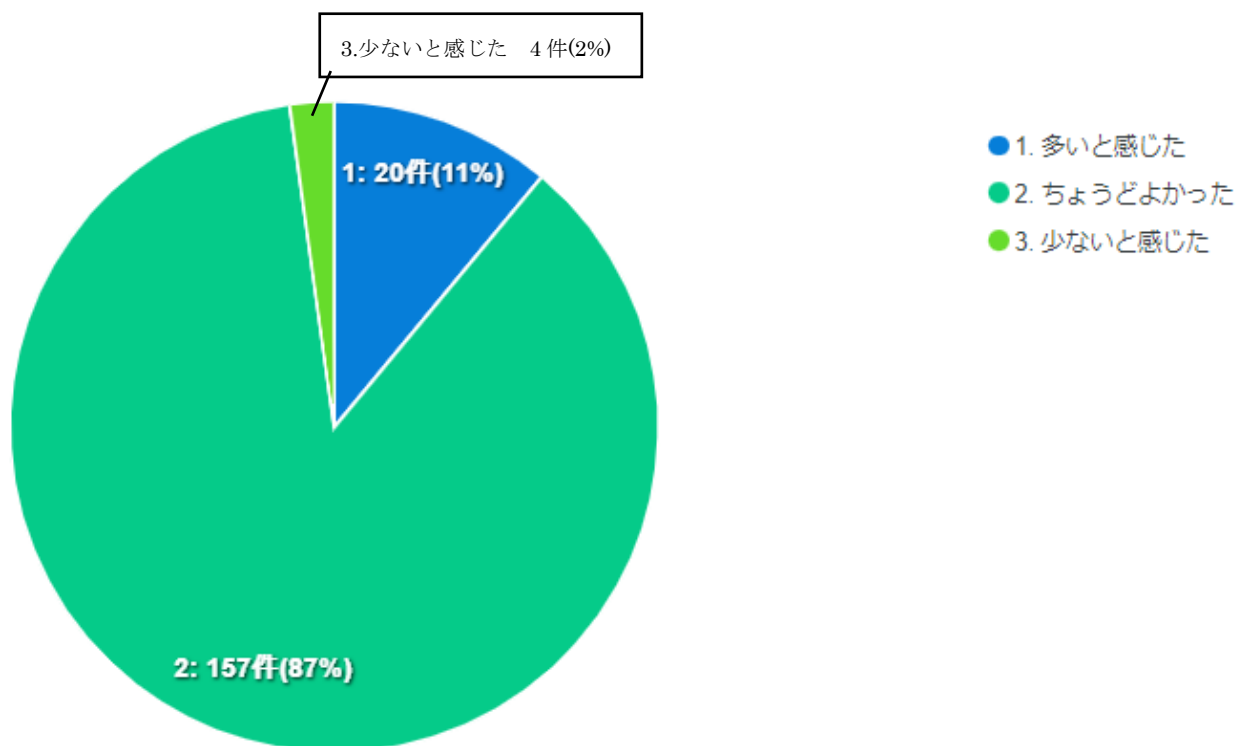


質問3—2. 「水のこえ」第52号の情報量についてどう感じましたか？【1ページ当たりの情報量】

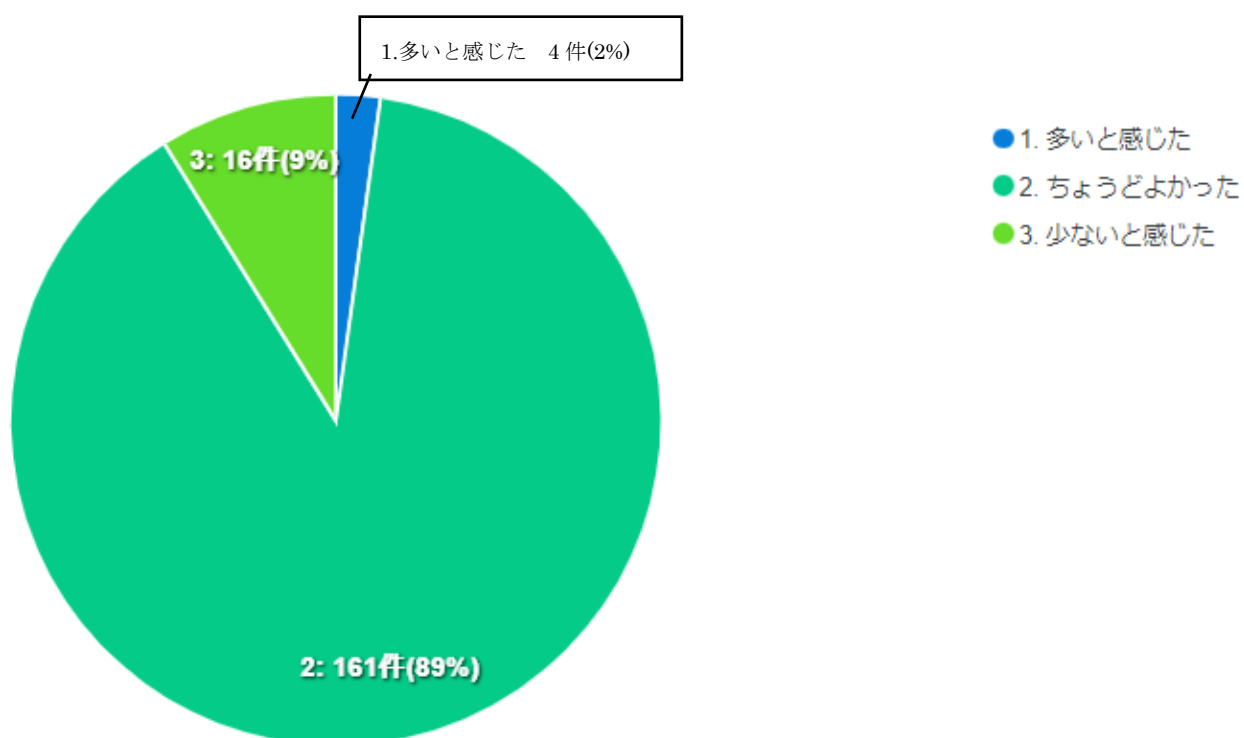




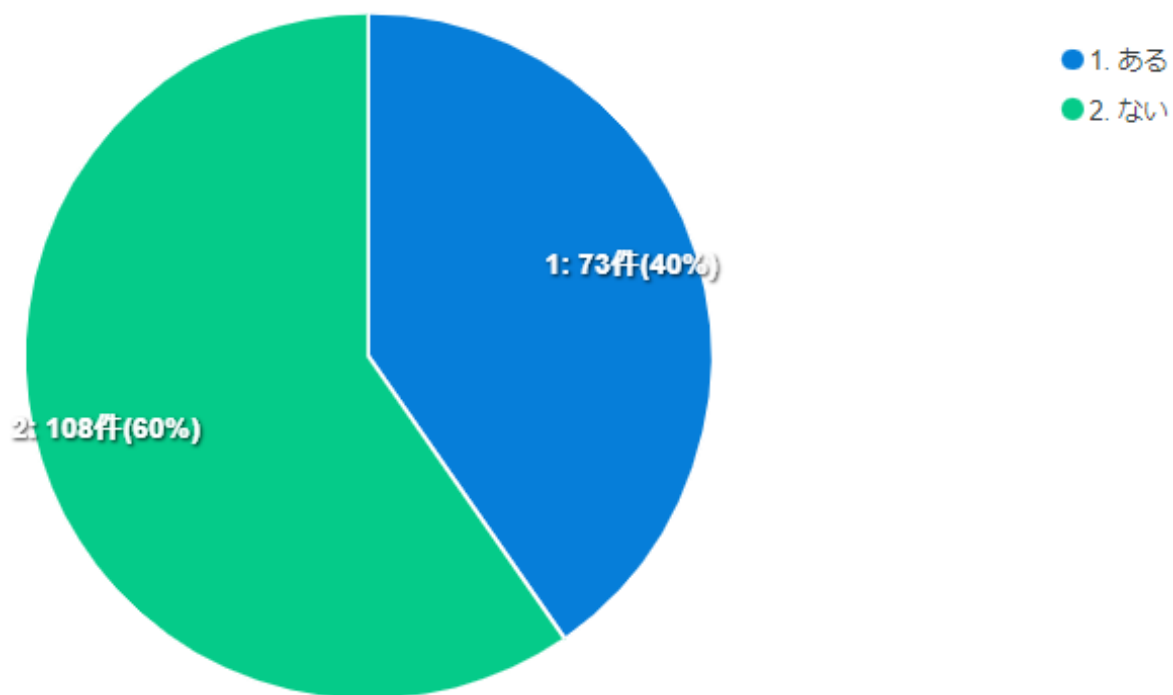
質問3—3. 「水のこえ」第52号の情報量についてどう感じましたか？【文字量】



質問3—4. 「水のこえ」第52号の情報量についてどう感じましたか？【画像・イラスト量】



質問4. 「水のこえ」第52号を読んで、初めて知ったことはありましたか？



質問4—1. 質問4で「ある」と回答した方にお聞きします。初めて知ったことを具体的にご記入ください。【自由記述】〈一部抜粋〉

■配水池が市内に40カ所もあること、安心して飲める水道水は長良川の伏流水であること。

■応援給水の活動、知りませんでした。困ったときに駆けつけて助け合える、素晴らしい活動です。色んな分野でどんどんやるべきことだと思います。

■鏡岩配水池以外の配水池

■配水池の利用のされ方やトンネルの様子など写真つきで分かりやすかった。配水池は万が一の為に雨水程度の水質のものを貯めていると思っていたから、すでに水質管理された水が入っていて家庭用に常用されているとは思っていなかった。

■「ハイカラレンガ」「岐阜の大地 りん20」など環境に配慮したものが販売されていること。

■配水池のしくみなど

■配水池が金華山に埋設されていたこと。びっくりでした。

■漏水検査にAIが導入されていたこと。

■決算 水道に関するお金の使われ方

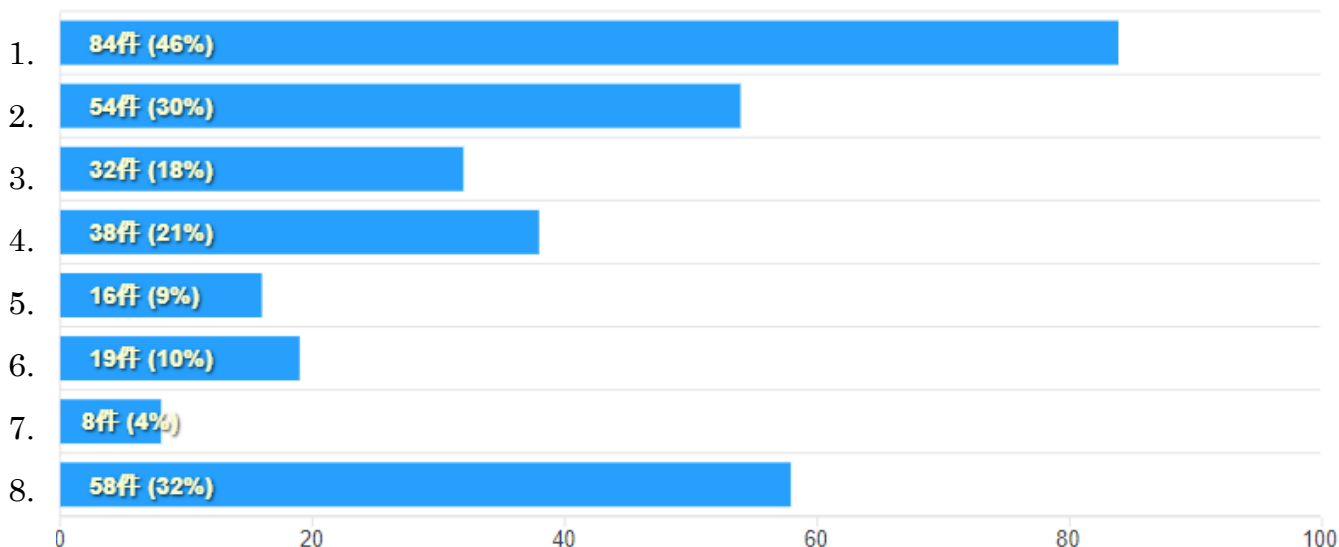
■水道普及率が意外と低く85.5%しかないこと。金華山に配水池があること

■下水汚泥がレンガに再利用されていたり、りん酸肥料が作られているのは知らなかったです。下水処理でできたものを工夫して資源として使っていて感心しました。

■水道水がどのような経路たどり着くかその間にどれだけの安全、安心、のための処理が施されて我々の元に届けられているのかが認識出来た。

質問5. 「水のこえ」第52号で面白いと思った、または興味深いと感じた記事はどれですか？

1. (P.2~P.3) [特集] 水道のしくみを探ろう - 配水編 -
2. (P.4) [特集] 水道施設 案内板 - 配水池 -
3. (P.4) 上下水道モニター事業の実施報告
4. (P.5) 知ってほしい 上下水道についてのお願いとお知らせ
5. (P.6) 令和3年度 決算のご報告
6. (P.7) 主要事業についての紹介
7. (P.8) 水のこえに対するご意見・ご感想について/読者の声
8. 特にない



質問5-1. 質問5で、面白いと思った、または興味深いと感じた記事について、その理由をお聞かせください。〈一部抜粋〉

1. (P.2~P.3) [特集] 水道のしくみを探ろう - 配水編 -

■すごく身近な存在なのに、知識がないため触ることもできなかったから、仕組みが知られてよかったです。

■漏水の発見の仕方も進化していて驚いたし、古い配水管などを交換してくれている状況が知れて良かった。

2. (P.4) [特集] 水道施設 案内板 - 配水池 -

■登山、観光名所である金華山に配水池が設置してあるということを知り驚きとても興味深かったです。現地にもそういった看板案内とかあるのかな？きっと他の皆さんも驚くと思います。

■イラストや写真でわかりやすく興味深かった。またとても身近に感じられた。

3. (P.4) 上下水道モニター事業の実施報告

■最近モニターにはまっているので、一度やってみたいなと思っていたから。

■上下水道モニターなんてあるんだ、と知った。また、普段何気なく使っている水道だけれど、もっと水を大切に使う必要があるな、と感じた。

4. (P.5) 知ってほしい 上下水道についてのお願いとお知らせ

■上下水道に切替するのに補助があることにびっくりしました。

■ハイカラレングは今回初めて知りました。家庭でも出来そうな取り組みなので興味がわきました。

## 5. (P.6) 令和3年度 決算のご報告

■実際に施設を知ることによって水道への理解を深めることができました。また、私たちの支払う水道料金や各種補助金で設備の維持・水道管の更新などが行われていることがわかりました。

■決算の報告が一番気になる場所なので。

## 6. (P.7) 主要事業についての紹介

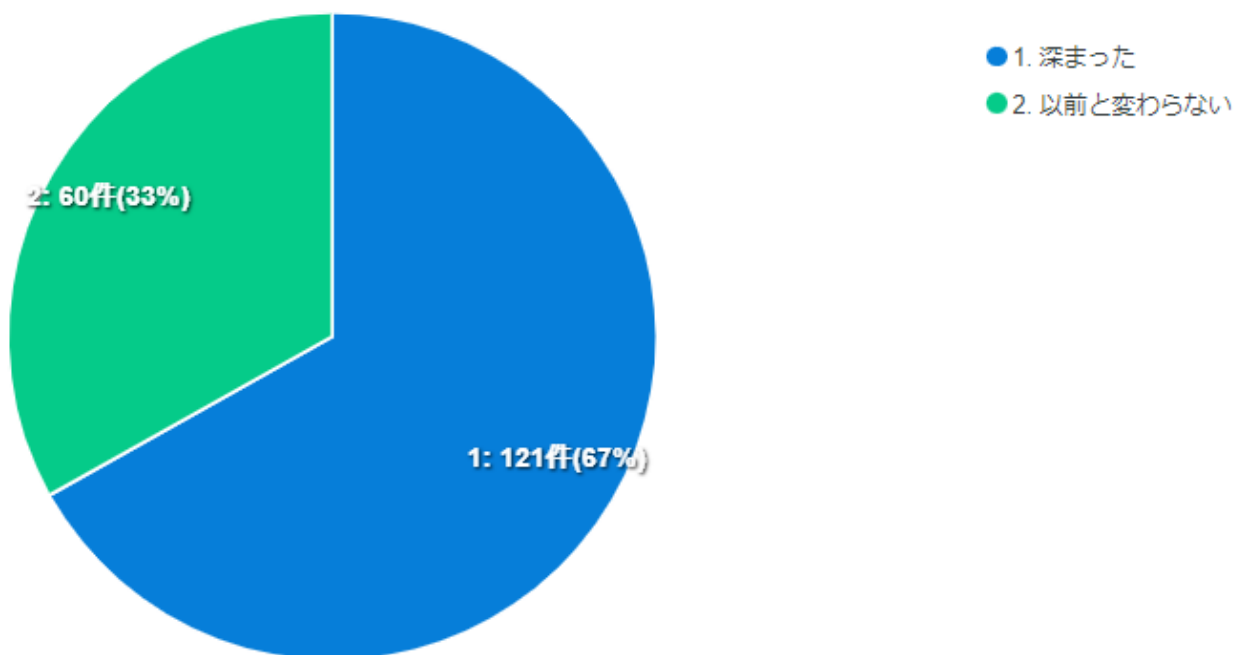
■水道に関する知識が増えたこと。

■今まで知らなかったから。当たり前前に思っていたから。

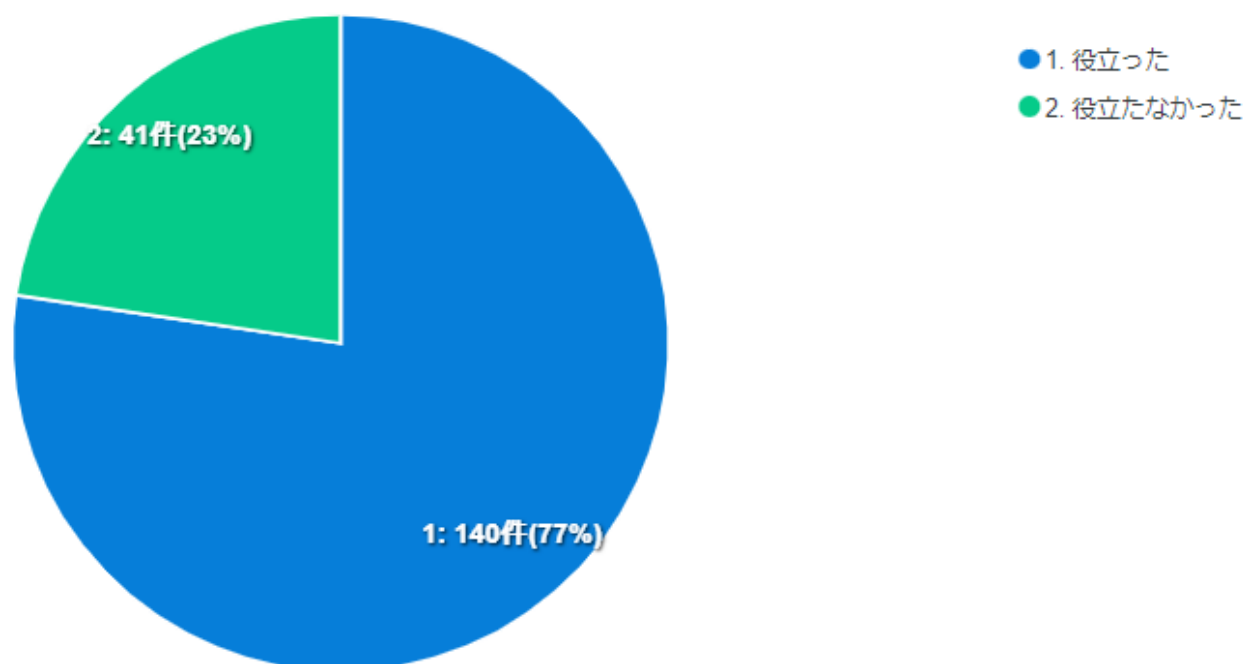
## 7. (P.8) 水のこえに対するご意見・ご感想について/読者の声

■水道施設の案内はとっても面白かったです。興味深く読みました。最後のご意見を載せているのも、良い声もちゃんと届いているようでよかったです。

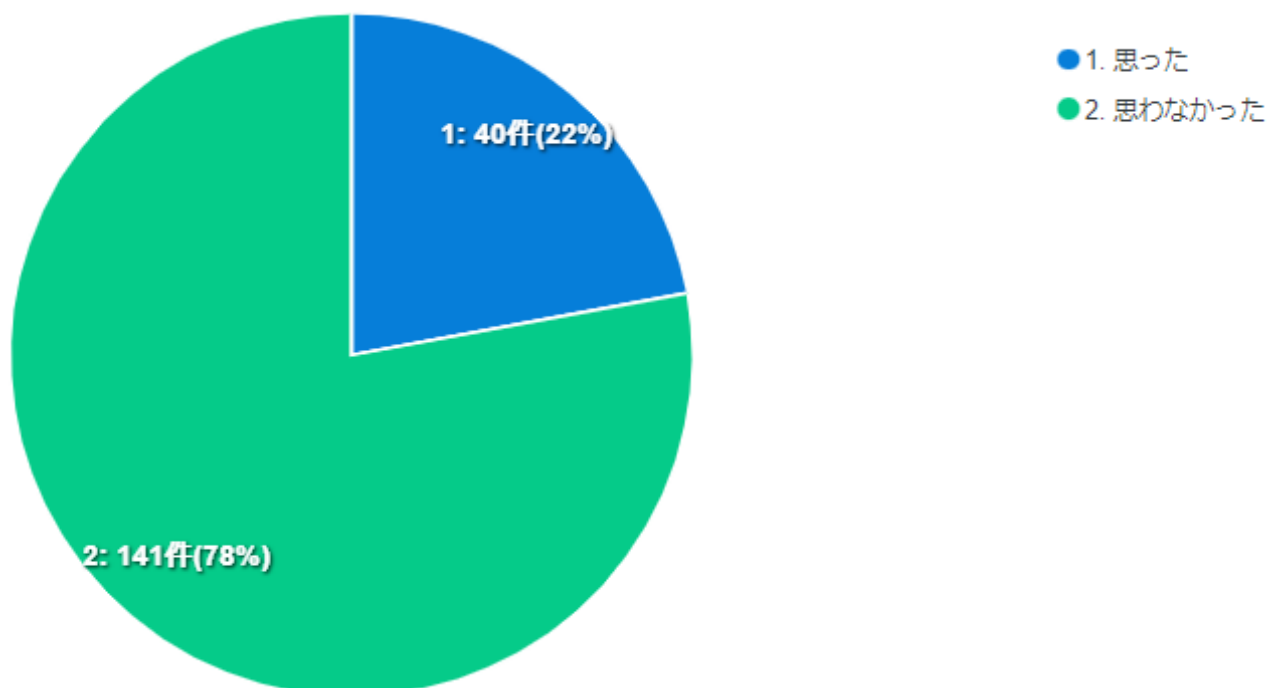
質問6. 「水のこえ」では、水道・下水道事業について利用者の皆様にお伝えしたいこと（上下水道事業部の取組、今後の課題と対応策等）について特集し掲載してまいります。「水のこえ」第52号を読んで、水道・下水道事業に対する理解は深まりましたか？



質問7. 「水のこえ」では、水道・下水道事業に関連した暮らしにかかわる情報も記載しています。「水のこえ」第52号に掲載された情報は、暮らしに役立ちましたか？



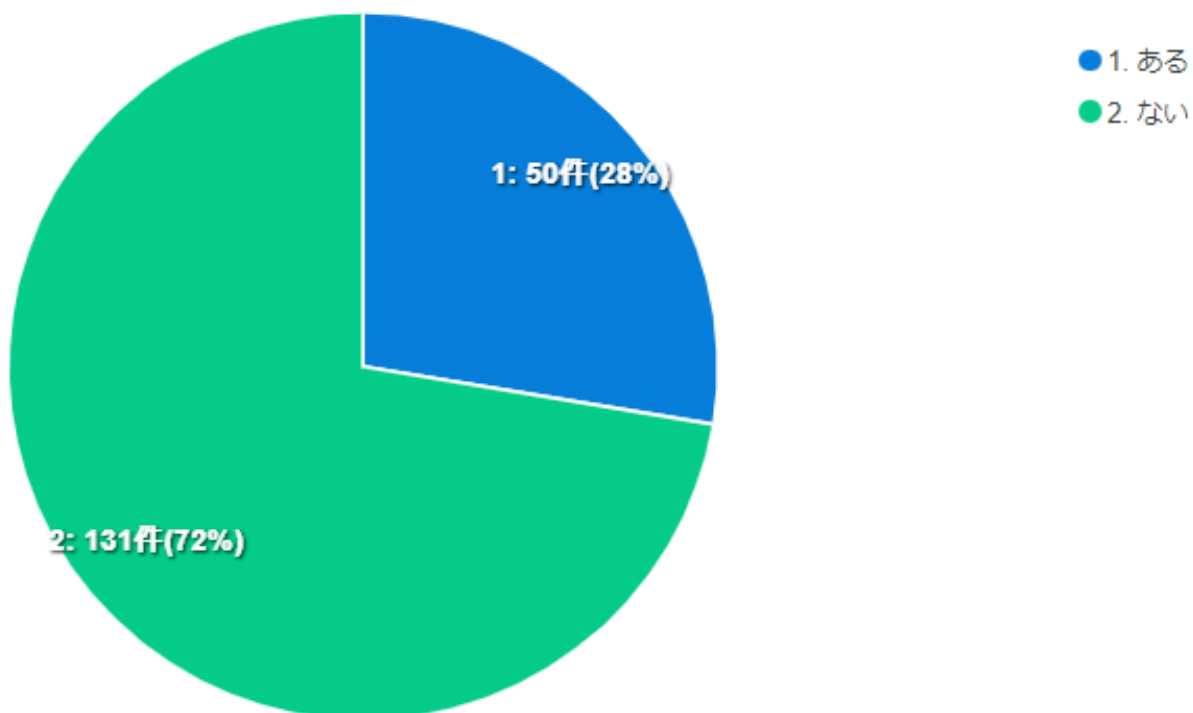
質問8. 「水のこえ」第52号を読んで、内容を理解するだけでなく、何か実践してみようと思われましたか？



質問8-1. 質問8で、思ったと回答した方にお聞きします。具体的に何を実践しようと思いましたが？〈一部抜粋〉

- 井戸水の利用について考えようと思いました。
- 水を無駄に使用しないよう、こころがけようと思った
- 災害の時の給水について考えようと思った。
- ガーデニングをする際は、リサイクルレンガ（ハイカラレンガ）を利用してみようと思います。
- 水の使い方を節約でき所は節約するよう心掛ける。
- 配水池を探してみようと思った。
- 岐阜市は水が潤沢に使えるからあんまり気にしていなかったけれど、節水や備蓄水のことをもっとしっかり考えようと思った。
- 自宅の上下水道の状態の確認 備蓄水の用意。
- 備蓄水の準備に加え、断水時にどうするかを家族で考えてみようと思いました。水道施設の見学も行ってみたいです。
- 節水や排水を極力汚さない。

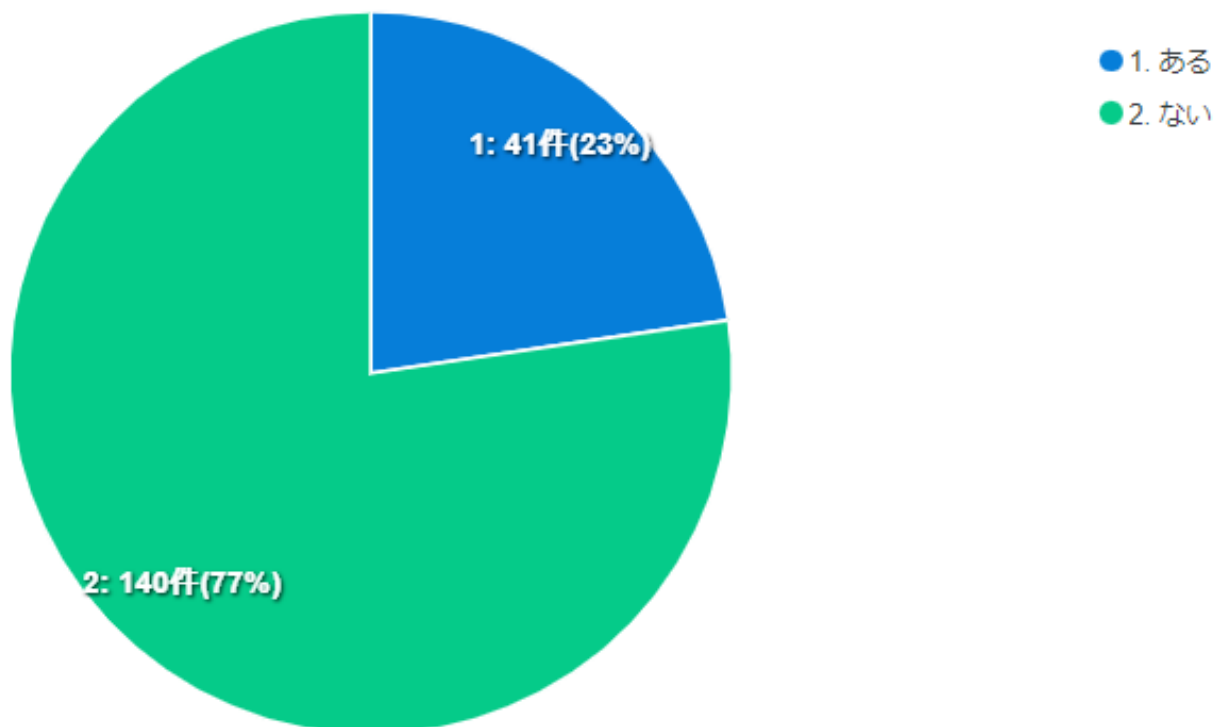
質問9. 「水のこえ」を読む方を増やしていくために何かアイデアなどがありますか？



質問9-1. 質問9で、あると回答した方にお聞きします。具体的にどのようなアイデアがありますか？〈一部抜粋〉

- 学校から配られた方が保護者として読まないといけないという気持ちになる。
- タウン情報誌にあるような、例えばウォーキングのチェックポイントや名所紹介のように、配水池やその他上下水道施設の紹介をしてみてもいいでしょうか。
- ホームページに載っていることを岐阜市のホームページからすぐに見つけられるように、発行したら大きな字や目立つようにこのリンクを貼れば良いと思う。
- 「水のこえ」を、ページごとに「パネル」を作成し、展示する。パネルは大きいサイズなので、目に留まりやすくなるのではないのでしょうか。
- テレビの岐阜チャンネルやラジオなどで一部の記事を紹介する。市役所の待ち時間などで読めるように壁に掲載する、またはすぐ取れる場所に置いておく、または音読してモニターに流す。
- イラストや漫画を取り入れて読み物として面白くしたら興味を持ってもらえるような気がします。
- 小学校や中学校の生徒にも配布したらどうでしょうか？
- 資料を配るだけだと読み流して終わってしまいますが、例えば[あなたは大丈夫？〇〇チェックシート]や、[家族で考える断水について][子供向けのクイズ]など、内容を読み込んでもらえるようなコーナーがあると楽しいと思います。
- インパクトのある表紙。開いてみようと思わせる表紙。迷路、間違い探しなどがあれば興味を引くのでは？

質問10. 水道・下水道事業について、広報を通じて知りたいことはありますか？



**質問10-1. 質問10で、あると回答した方にお聞きします。具体的にどんな事を知りたいですか？〈一部抜粋〉**

- 今回のような、生活に密着した内容(応援給水や岐阜市の配水)を伝えてほしい。
- 日時生活に不自由なく蛇口をひねるだけで出る綺麗な水の大切さを思い出すためにも度々伝えてほしい。
- 水道水を安心して使用するための正しい知識。(例えば、成分や味、美味しい飲み方、また、水道水でお問い合わせが多い内容をQ&Aで紹介)
- コスト削減の取り組み。
- 設備など普段みることができない場所をどんどん紹介して欲しい。
- 断水時の対策について。
- 下水道の仕組みや流れについても知りたい。
- 上下水道の仕組みや大切さをもっと身近に感じられる情報。他の市町村や都道府県との特徴比較。
- 岐阜市は昔からを自家で水を汲み上げて使用している家庭も多くあり上水道水との違いや両者の共存の在り方。

**質問11. 水道・下水道事業全般について、ご意見があれば自由にご記入ください。〈一部抜粋〉**

- 行われてるか分からないですが、社会見学で子ども達に施設の見学をするとか子ども達にみんなの家庭や学校までにくる水の流れを説明する機会があるといいのかなーって思いました。
- 水道代が上がらないようお願いしたい。
- 計画的な設備投資
- 私たちの生活になくてはならない事業なので、ありがとうございます。



## 7 今後に向けて

### (1) 男女共同参画に関する意識、実態調査について（問1～問8）

男女共生・生涯学習推進課では、男女共同参画社会の実現に向けて、第3次男女共同参画基本計画に基づき、これまでも様々な取り組みを推進してきました。

しかしながら、今回の調査結果から、あらゆる場面において依然として男性が優遇をされていると感じている方が多いこと、また、性別役割分担意識について「どちらかといえば同感しない」と考える方が多い一方で、現実では、女性は家事や育児、介護を担い、非正規での就業を選ぶ傾向にあることがわかりました。

男女共同参画社会を実現していくうえで、固定的な性別役割分担意識の解消やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）への気づきを促すことは、重要な課題であると考えられるため、継続して男女共同参画に対する意識啓発に努めてまいります。

また、岐阜市では、男女が共に働きやすい職場環境の整備に積極的に取り組む企業などを「岐阜市男女共同参画優良事業者」として表彰し、また、男性の家事・育児参画や女性活躍を支援し、その環境づくりに取り組む企業を「ぎふし共育・女性活躍企業」として認定をしています。このような企業の取り組みを市内事業者全体に浸透できるよう、今後も引き続き周知啓発に努めてまいります。

今回の調査結果を踏まえ、「すべての人が自らの未来を選択でき、意欲を持って輝けるまち」を目指し、男女共同参画行政を推進してまいります。

### (2) 市営墓地の在り方について（問1～問6）

市民生活政策課では、5か所の市営墓地の維持管理事業を担い、その中で、新たに墓地用地を希望される方に貸付を行ってきておりますが、年々貸付区画数は減少しています。

お墓や葬送に関する意識、考え方が変化していると言われる昨今ですが、今回の調査結果から、子孫が先祖からのお墓を引き継いで守っていくべきと考え、ご自分のお墓を子孫に引き継ぐ予定である方が多いことがわかりました。

一方、お墓が遠方にあり、管理が大変であると感じる方や、子孫には負担をかけさせたくないと感じている方も多くいらっしゃいました。

このように、お墓に対する意識が多様化している状況ですが、今後、無縁化するお墓が増加すると予想され、ひいては墓地の荒廃化にもつながることから、具体的な対策を検討していかなければならないと考えています。

さらに、子孫に負担をかけないと言われる合葬式墓地の整備についても、様々な考えがあることから、さらに幅広くニーズ等を把握し検討していく必要があると考えています。

今回お寄せいただいたご意見を踏まえ、市営墓地の持続可能な運営を図るため、墓地の在り方を検討してまいります。

### (3) ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」に関する調査（問1～問11）

上下水道事業政策課では、上下水道事業について皆様にご理解いただくため、上下水道事業に関する様々な情報を掲載する広報紙「水のこえ」を年間2回発行しています。

今回の調査で、紙面の読みやすさについては、文字が多く、画像・イラストが少ないと感じられた方が多く、そのことが読みやすいと感じられている割合が高くないことにつながっていることが分かりましたので、文字と画像・イメージの割合について検討し、より読みやすい紙面となるよう努めます。

また、記事の内容についても、初めて知ったことがあった方や、記事から何か実践してみようと思った方の割合が多くないという結果になりましたので、「身近だけど知らないこと」や「生活に深く関係すること」など、読む方に興味を持ってもらえるような記事の掲載ができるよう努めます。

今回の調査結果を踏まえ、広報紙「水のこえ」について、より読みやすく興味を持てる紙面の制作に努めるとともに、広報紙の発行以外の手法でも、上下水道への皆様のご理解を促進できるよう広報活動に努めてまいります。

#### お問い合わせ先

- (1) 男女共同参画に関する意識、実態調査について（問1～問8）

市民協働推進部 男女共生・生涯学習推進課

TEL：058-214-4792／MAIL：danjo-gakushu@city.gifu.gifu.jp

- (2) 市営墓地の在り方について（問1～問6）

市民生活部 市民生活政策課

TEL：058-214-2176／MAIL：seikatsu-sei@city.gifu.gifu.jp

- (3) ぎふしの水道・下水道広報紙「水のこえ」に関する調査（問1～問11）

上下水道事業部 上下水道事業政策課

TEL：058-259-7878／MAIL：sui-sei@city.gifu.gifu.jp